

新発田市

た ぶん か きょう せい

多文化共生

推進指針



新発田市

2024年3月



目 次

第1章 指針の概要

- 1. 指針の位置づけ 1
- 2. 多文化共生の方向性 1

第2章 新発田市の現状と課題

- 1. 新発田市の現状 2
 - (1) 人口の現状 2
 - (2) 国籍別の推移 3
 - (3) 在留資格別外国人数 4
 - (4) 年齢階層別人口 5
- 2. これまでの新発田市の取組 6
- 3. 今後の課題 7
 - (1) 生活に関する課題 7
 - (2) 命に関する課題 7
 - (3) 子育てに関する課題 8
 - (4) 多文化を身近にするための課題 8
 - (5) 新発田で生活していく上での課題 8
 - (6) 日本語に関する課題 9
 - (7) 労働に関する課題 9
 - (8) 地域の担い手としての課題 9

第3章 指針の基本理念と体系

- 1. 基本理念 10
- 2. 施策体系 10

第4章 指針の基本方針と施策

- 基本方針Ⅰ 快適・安心・平等なまち 11
- 基本方針Ⅱ 共に暮らすまち 13
- 基本方針Ⅲ 共に地域を支えるまち 14

- 資料編 16

第1章 指針の概要

1. 指針の位置づけ

この指針は、「新発田市まちづくり総合計画」（以下、「総合計画」という。）に示されている多文化共生施策に基づき、国籍や文化の違いを認め共生する社会の実現に向け、市民、自治会、企業、学校、市民団体、行政などが一丸となって取り組むための基本的な考え方を示すものであり、2020（令和2）年に総務省が改訂した「地域における多文化共生推進プラン」の観点を取り入れながら、当市の総合計画などと整合を図っています。

2. 多文化共生の方向性

現在日本には300万人を超える外国籍者が暮らしており、この10年間で100万人以上増加しています。国は、2018年に「外国人の受入れ・共生のための総合的対応策」を取りまとめ、2020年には、外国人住民の増加・多国籍化、在留資格「特定技能」の創設、多様性・包摂性のある社会実現の動き、デジタル化の進展、気象災害の激甚化など、多文化共生施策を取り巻く社会経済情勢の変化に対応していくため、「地域における多文化共生推進プラン」を改訂しました（資料編p16<資料1>）。この改訂プランでは、地方公共団体においても、地域の実情を踏まえて、多文化共生の推進に係る指針等を策定し、多文化共生の推進に取り組むこととしており、当市においては、総合計画において多文化共生を推進することとしているほか、本指針を策定し、各種施策を進めていくこととしています。

この指針は、国や県の動きを注視しながら、社会情勢の急激な変化に応じて柔軟に対応するものであり、総合計画の見直しに合わせて適宜見直しを行っていくほか、本指針で掲げた施策については、各分野の計画等と整合を図りながら推進していきます。

用語	説明
多文化共生	「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認めあい、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくこと」 (総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書」2006)
外国人住民	一般的に、新発田市に生活拠点を有する外国籍の住民のことを表しますが、「外国人住民」には、外国にルーツをもつ（「ミックス」・「ダブル」とも呼ばれる）日本国籍を有する人も含みます。 ※第2章では、住民基本台帳における外国籍の住民登録者数としているため、日本国籍を有する外国人住民は含まれておりません。

第2章 新発田市の現状と課題

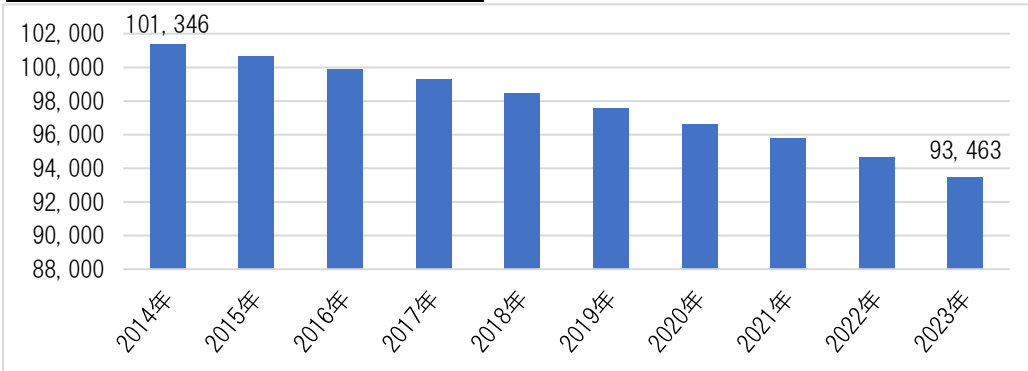
1. 新発田市の現状

(1) 人口の現状

新発田市における総人口は、2014（平成26）年から2023（令和5）年までの直近10年間で約7,900人減少しています。反対に外国人住民数は、コロナの影響で2022（令和4年）は減少していますが、直近10年間では約180人増加しており、総人口に占める外国人の割合は10年で1.5倍に増加しています。

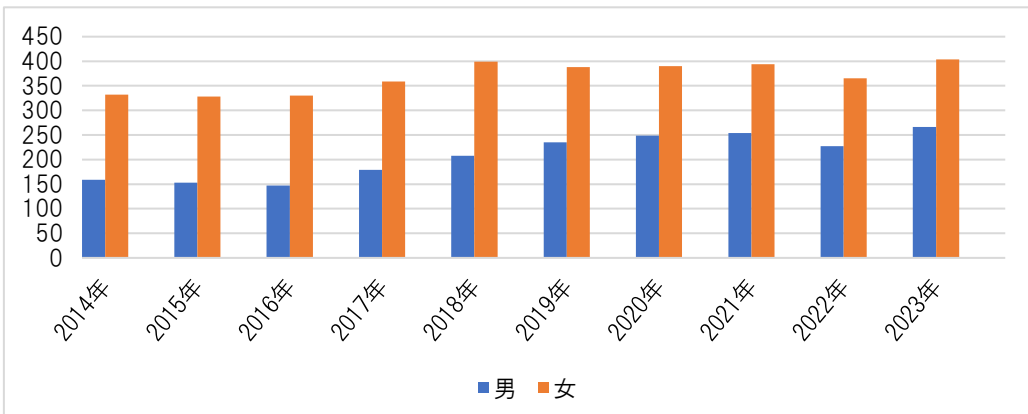
また、図表2において、10年前は外国人住民のうち女性の割合が男性の倍以上を占めていたのに対し、近年は男性の割合が増えてきています。

図表1 新発田市総人口の推移（人）



（住民基本台帳：各年4月末）

図表2 外国人住民数の推移（男女別）



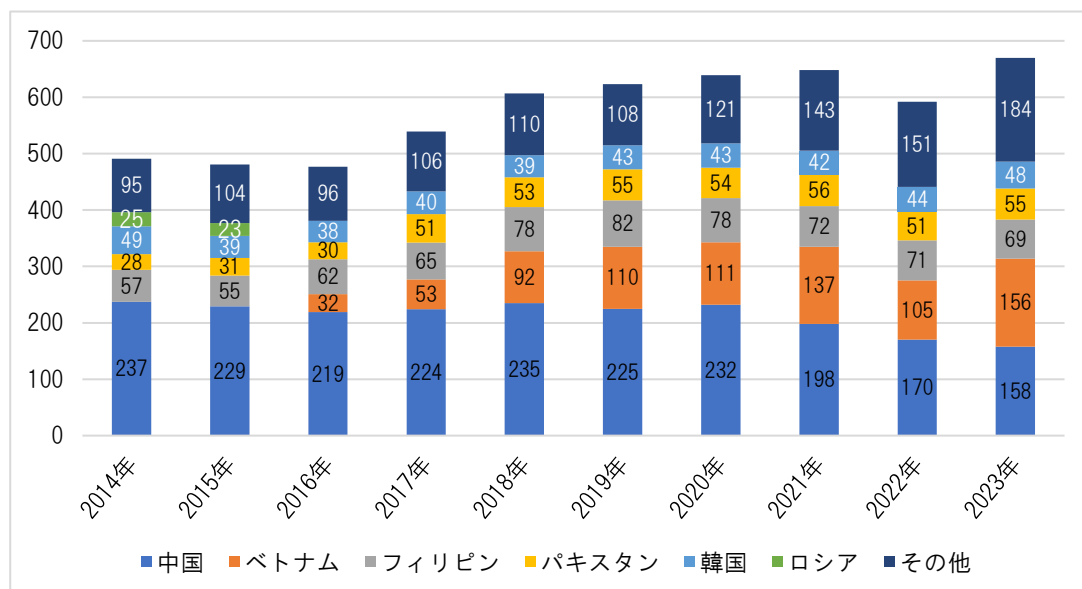
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
男	159	153	147	179	208	235	249	254	227	266
女	332	328	330	359	399	388	390	394	365	404
合計	491	481	477	538	607	623	639	648	592	670
外国人市民の割合	0.48	0.48	0.48	0.54	0.62	0.64	0.66	0.68	0.63	0.72

（住民基本台帳：各年4月末）

(2) 国籍別の推移

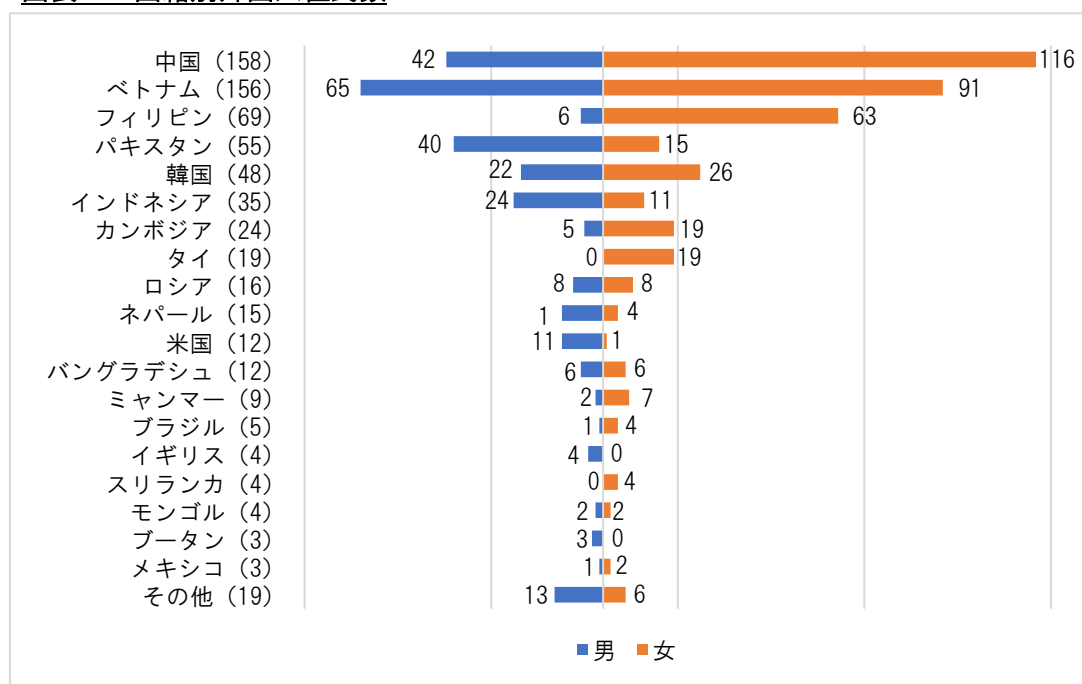
最近の傾向としてはベトナム人住民数の伸びが著しく、全体の約 23%を占めており、2023 年 4 月末現在中国に次いで第 2 位となっています。国籍では、現在 34 か国の外国人住民が在住しており、2014 年の 28 か国に比べ、国籍数が増加（多国籍化）しているほか、割合の構成にも変化が表れてきています。

図表 3 国籍別外国人住民数の推移（上位 5 か国）



（住民基本台帳：各年 4 月末）

図表 4 国籍別外国人住民数

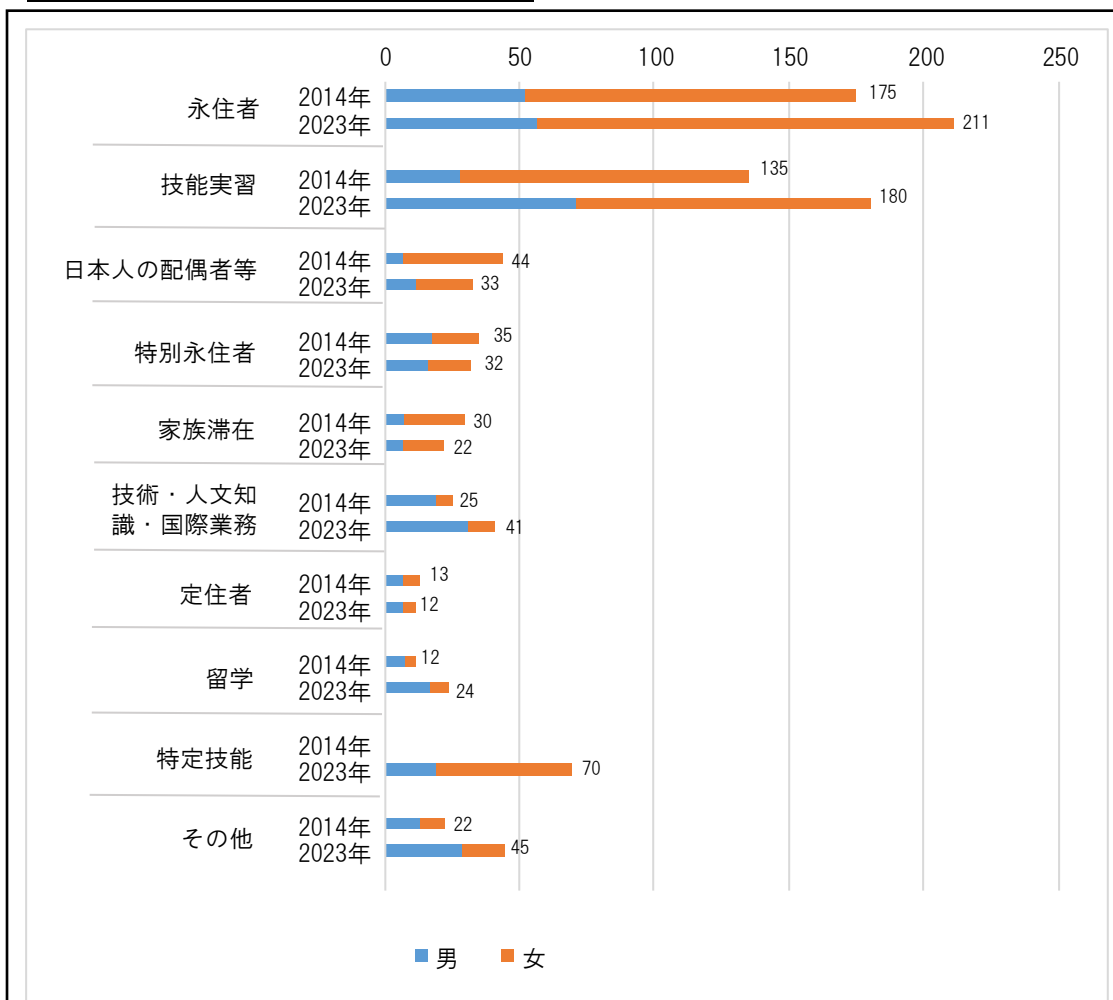


（住民基本台帳：2023 年 4 月末）

(3) 在留資格別外国人数

当市においては、永住者の数が最も多く、次いで技能実習の数が多い傾向にあります。また、近年の労働市場の需要の高まりから、2019（令和元）年4月に導入された特定技能に属する外国人住民も増えています。

図表5 外国人住民の在留資格別（人）



	永住者	技能実習	日本人の配偶者等	特別永住者	家族滞在	技術・人文知識・国際業務	定住者	留学	特定技能	その他
2014年	175	135	44	35	30	25	13	12	0	22
2023年	211	180	33	32	22	41	12	24	70	45

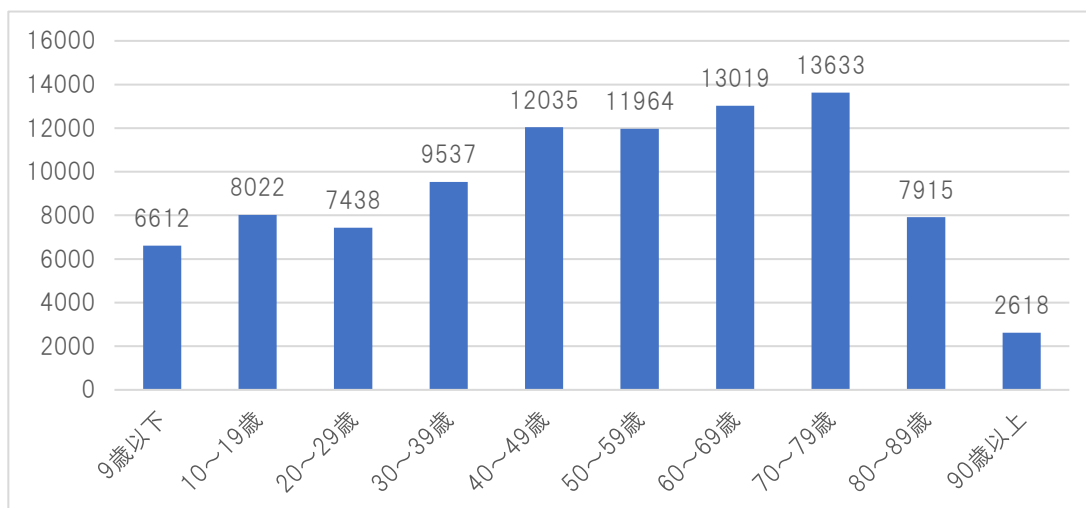
※2014年の「技術・人文知識・国際業務」の数値は「技術」「人文知識・国際業務」を合算しています。

※在留資格については、資料編（p16<資料2>）参照

(4) 年齢階層別人口

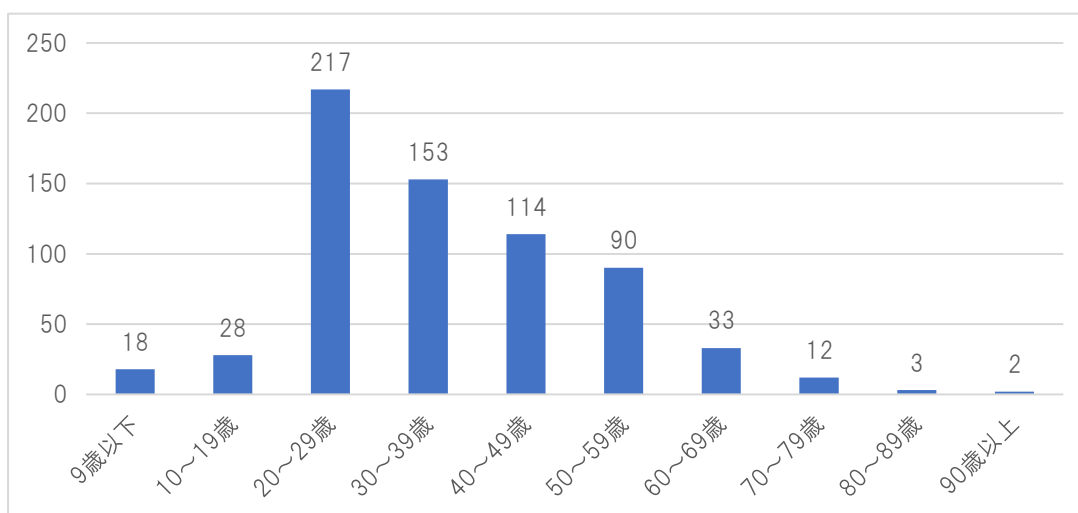
図表 6 では、日本人の少子高齢化の傾向が顕著に表れている一方、図表 7 で示すとおり、外国人は生産年齢人口が多いことがわかります。

図表 6 日本人住民の年齢階層別人口（人）



（住民基本台帳：2023年4月末）

図表 7 外国人住民の年齢階層別人口（人）



（住民基本台帳：2023年4月末）

2. これまでの新発田市の取組

当市では、新発田日本語教室と連携した日本語の学習支援や日本語ボランティア養成講座を実施しているほか、生活情報の提供や災害・防災の啓発活動等に取り組んでいます。

2020（令和2）年からは、定住自立圏である胎内市と連携し、両市に住む外国人を対象とした防災セミナーを開催しているほか、2021（令和3）年からは、多文化共生コーディネーター¹を配置して、多文化共生の促進に取り組んでいます。

また、「しばたあやめニュース」の作成や日本人住民に向けた国際理解講座など、外国人住民や市内の大学とも連携し、多文化共生の取組を進めています。



防災セミナー「火事のと看、どうする？」



日本語ボランティア養成講座



国際理解講座
「パキスタンってどんな国？」
(敬和学園大学長坂ゼミ連携)



多文化共生コーディネーター主催
「新発田で旧正月を祝おう！～中国編～」

¹ 国籍や民族などの異なる市民が、互いの文化的ちがいを認めあい、対等な関係で地域社会を構築できるよう、新発田市の多文化共生の促進をミッションとして活動しています

3. 今後の課題

外国人住民が新発田市で安心して暮らしていくためには、言語や文化の違いにより地域から取り残されることがないようにしていかなければなりません。現在当市では半数以上の部署で外国人と関わる業務がありますが、その中で「市民向けの通知や情報が外国人に正しく理解されているかわからない。」「電話や窓口対応で相手に伝わりにくい場面がある。」といった懸案事項があるため、今後の課題を以下にまとめました。

(1) 生活に関する課題

行政が提供するサービスは、国籍に関係なく、必要な情報が必要な市民に行き届くようにしなければなりません。当市では、行政から発信する各種情報に係る外国人住民への提供については、外国人向け月刊情報紙「しばたあやめニュース」(やさしい日本語・英語・中国語)、外国人住民向け Facebook でそれぞれ周知・提供しているほか、市ホームページも多言語対応(やさしい日本語・英語・中国語・韓国語)しています。今後は、従来行ってきた取組を、近年の多国籍化や在留資格の変化に合わせて見直し、対応していく必要があります。

また、市内に住む外国人に実施したアンケートでは、多くの外国人住民が、市役所に相談先を求めていることがわかりました(資料編 p30<質問 32>)。現在、当市の外国人住民からの相談においては、必要に応じて翻訳機を庁内で貸し出すなどして各課で対応していますが、相談先を明確にすることで、これまですくいあげられなかった相談にも対応できるよう、調整していくことが求められています。

(2) 命に関する課題

外国人は、災害が発生した際、言語や文化の違いによる情報不足、災害経験の少なさによる不安や誤解など、外国人特有の課題に直面することが予想されます。当市では毎年、外国人住民を対象に防災セミナーを行い、日本での災害を知る機会としているほか、「しばたあやめニュース」や Facebook を通じて平時から防災の情報を発信しています。今後も多様なメディアを通して防災情報を提供するほか、有事の際に迅速に対応し、共に支え合えるよう、体制を整備することが急務となっています。

医療・保健サービスにおいては、外国人であることが理由で医療サービスに差が出たり、受けられなかったりすることがあってはいけません。日本語ができないことで、医療や福祉サービスについての意思の疎通が図れない場合もあり、問題を抱えたまま社会から孤立してしまう懸念もあります。

また、外国人住民の中には、日本の医療制度や保健制度を正しく理解していないことで、本来利用できるサービスを受けられないことがあることから、社会保障に関する多言語での情報提供やサービスの円滑な利用促進などの啓発に努める必要があります。

(3) 子育てに関する課題

外国人の子育てにおいては、言語や文化の違いにより、様々な母子保健制度の存在そのものがわからないことや、活用方法がわからないことで、母子保健サービスを受けられないことがないよう、努めていく必要があります。当市では、2023（令和5）年10月から11言語²に対応した子育て支援アプリ、12月末から英語に対応した子育てチャットボットを導入し、外国人でも子育てに関する情報や機能を手軽に利用できるようになりました。今後はこうしたサービスの周知や、妊娠出産子育てに関する相談の多言語対応に取り組んでいくことで、不安を一人で抱え込まずに相談できる環境づくりが求められています。

教育においては、保護者が母国との教育制度の違いに戸惑ったり、子どもが日本語を理解できないため、日本の学校生活になじめなかったり、学習意欲を持っていないといった様々な課題があります。また、日本全体において、日本語指導を必要とする高校生等の中退率や非正規就職率は著しく高い傾向にあります³。

当市では、学校への日本語指導員の派遣や、外国にルーツをもつ子どもたちを対象とした日本語教室「Jスクール」の支援などを行っていますが、外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語指導と就学・進学・就職支援の充実や、アイデンティティの継承など、幅広い取組が必要となっています。

(4) 多文化を身近にするための課題

外国人も地域の担い手として活躍していくためには、日本人の異文化への理解は必要不可欠です。多文化共生に関して行った日本人住民へのアンケートでは、外国人と同じ地域で住むことに対しプラスの印象を持つ人も多いことがわかりました（資料編 p35<質問 11>）。

また、外国人・日本人ともに、お互いの交流を求める声もあり（資料編 p31<質問 35>、p34<質問 10>）、市民同士で交流の機会を自ら作ることは難しいことから、交流の機会や、普段から交流できる仕組みを意図的に作り、違いを認め合う社会づくりを一步步進めていくことが重要です。

(5) 新発田で生活していく上での課題

共生を目指す上では、外国人住民がその地域共通のルールを知ることも大切です。新発田での生活に関する情報は、「しばたあやめニュース」や Facebook、ホームページ、SNS 等で多言語発信しているほか、「外国人のための暮らしのガイド」（やさしい日本語）を発行しています。すべての外国人住民が新発田での生活について正しく知

² 英語、中国語（簡・繁）、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ロシア語、ネパール語

³ 文部科学省「日本語が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」（2023 一部訂正）

り、地域で安心して暮らせるよう、生活に関する情報や防災に関する情報などを、今後も多様なメディアを活用して多言語で発信していく必要があります。さらに、新発田の魅力を発信することで、新発田に愛着を持ってもらえるよう取り組むことも重要です。

(6) 日本語に関する課題

日本語教育推進法の施行に伴い、地域においても日本語教育を推進することが一層求められています。当市においては、新発田日本語教室が、地域の日本語指導を担っており、市はボランティア養成講座の開催や教室の広報等の支援を行っています。

また、当市では、職員研修において、やさしい日本語を紹介し、外国人住民への情報発信の際には、やさしい日本語を使うよう努めています。

新潟県では現在「新潟県における日本語教育の推進に関する基本的な方針」を策定中であり、今後は、県の方針も踏まえながら日本語教育の施策を進めていくとともに、新発田日本語教室との連携体制を維持させていくことが重要となってきます。また、日本人住民の中にもやさしい日本語を普及させ、地域での交流や助け合いが生まれる土壌作りを進めていくことが求められています。

(7) 労働に関する課題

今後、新発田市全体の人口と生産年齢人口はともに減少していく反面、技能実習生など、働く世代を中心に、外国人住民は引き続き増加が予想されます。特に縫製や建築、飲食料品製造、介護などの分野では、人材不足が生じ、当市でも外国人材の受け入れが進んでいます。こうした状況の中で、外国人が安心して就労できる労働環境を確保することや、日本の社会保障制度等を正しく理解できるよう企業と連携した取組が必要であるとともに、外国人従業者に対する日本語教育の支援や、日本人従業者側の意識啓発を行うことも非常に重要です。

(8) 地域の担い手としての課題

地域社会の持続や活性化のためには、外国人住民も大切な存在です。当市は、日常的に外国人住民と交流したり、海外の文化に触れたりする機会が少ない環境であるため、心理的な壁が生じてしまうことも考えられます。そうした心の壁を取り払うため、自治会や市民団体、将来を担う子どもたちをはじめとした、日本人住民への異文化理解を進めていく必要があります。また、学校や大学と連携してグローバル人材の育成に取り組むことで、多様な文化や価値観を理解する人材を育て、市民の意識啓発に繋げていくことも重要になってきます。そうした取組により、外国人住民が社会の一員として地域活動へ参画し、主体的に地域に関わり、地域で活躍することで、国籍を超えて、自助・共助できる市民間での繋がりを広めていくことが求められています。

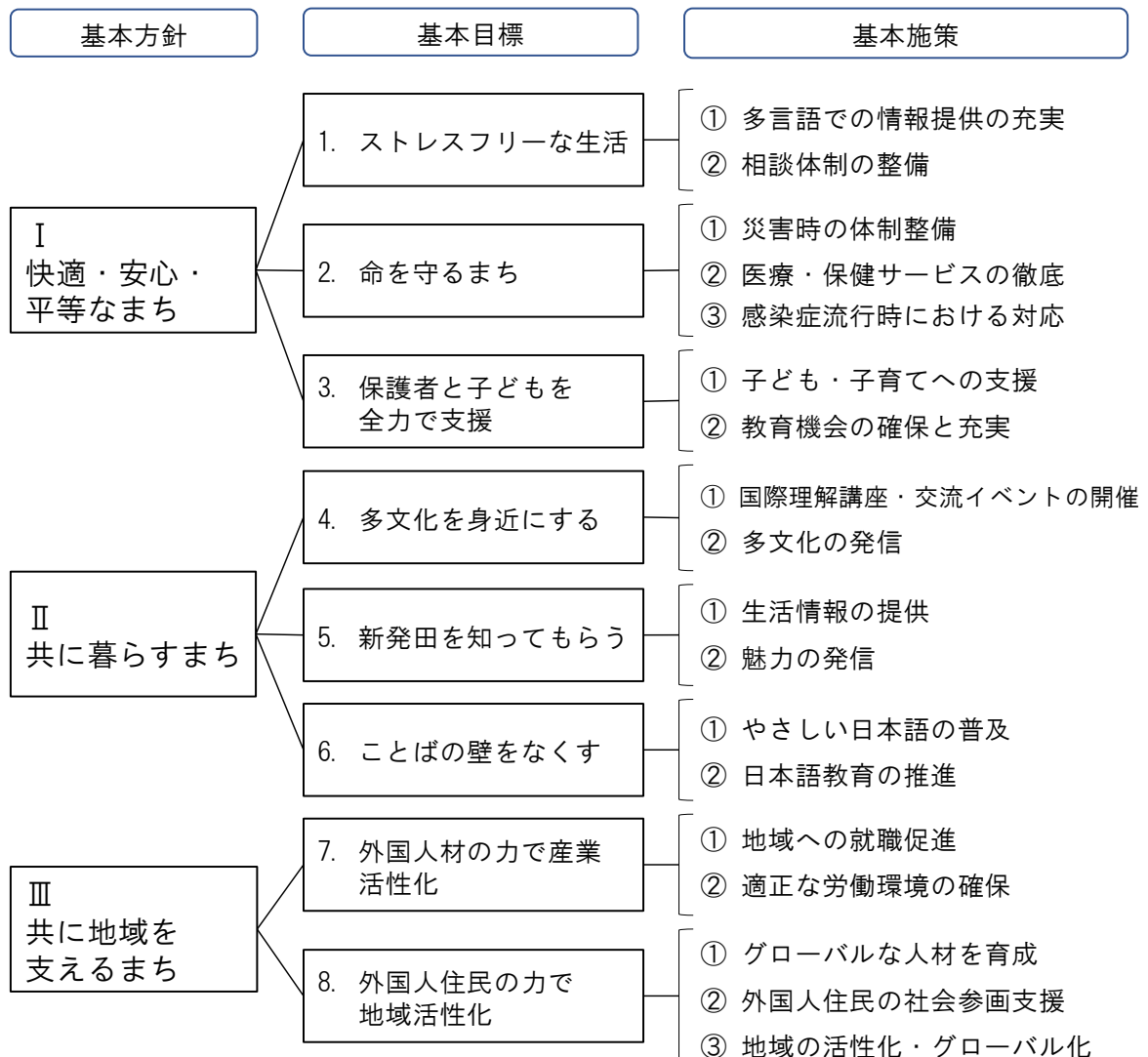
第3章 指針の基本理念と体系

1. 基本理念

すべての市民が国内外の異なる文化や多様な価値観を認め合う共生のまち

国籍や民族の異なる市民が、互いの文化的違いを認め合い、安心安全に暮らせるまちづくりを目指します。そのためには、外国人住民の生活支援だけでなく、日本人住民の意識醸成も必要不可欠であることから、以下のように施策体系をまとめました。

2. 施策体系



第4章 指針の基本方針と施策

多文化共生社会の形成は、行政だけでなく、市民、自治会、企業、学校、市民団体などと連携・協力しながら進めていく必要があります。それぞれの社会的役割、強み、特性を活かした協力体制のもと、基本理念に沿った3つの基本方針を定め、施策を推進していきます。

基本方針Ⅰ 快適・安心・平等なまち

外国人住民が言語や文化の違いにより感じる生活上の不便や不自由、不安を解消できるよう、生活情報の共有に努めます。

また、災害や感染症の流行等に備え、生活全般にわたって協働を図り、国籍関係なく安心して新発田市で暮らしていける仕組みづくりを推進します。

1. ストレスフリーな生活

① 多言語での情報提供の充実

日本語を母語としない外国人住民にも、行政サービスや制度等について理解してもらい、また、行政に関する情報が伝わるよう、やさしい日本語や多言語での情報提供に努めます。

【施策例】

- 市からの配布物や庁内標示等の多言語化
- Facebook等SNSを活用した効果的な市政情報の発信
- 新しい情報発信ツールの検討

② 相談体制の整備

言語的・文化的ハンディキャップのある外国人住民も、日常生活の様々な困りごとや悩みを相談できるよう、相談体制の充実を図ります。

【施策例】

- 外国人相談窓口の設置
- 外国人の抱える問題の庁内共有と包括的な支援体制の整備
- 県や国際交流協会など他機関との連携

2. 命を守るまち

① 災害時の体制整備

外国人住民が災害や避難施設についての知識を持つとともに、災害発生後、外国人住民及び外国人観光客に対し適切に情報が伝わるよう、体制の整備を行います。

【施策例】

- 定住自立圏で連携した外国人向け防災セミナーを実施
- 災害情報がリアルタイムかつ多言語で発信できる体制の構築

② 医療・保健サービスの徹底

外国人住民も適切に医療・保健サービス等が受けられるよう、制度の周知や体制の整備に努めます。

【施策例】

- 多言語対応可能な医療機関の把握・外国人への情報提供
- 日本の医療制度、保健制度の情報発信
- 医療通訳体制の整備

③ 感染症流行時における対応

新型コロナウイルス感染症等、感染症の拡大に備えるため、外国人住民へのやさしい日本語や多言語での情報提供、手続きの多言語化を進めます。

【施策例】

- SNS やホームページにおける多言語でのリアルタイムな情報発信
- ワクチン接種に係る案内及び手続きの多言語化

3. 保護者と子どもを全力で支援

① 子ども・子育てへの支援

外国人住民が安心して出産・育児・子育てをすることができるよう、多言語での情報提供を行うとともに、不安を一人で抱え込まずに相談できるよう、関係機関との連携を推進します。

【施策例】

- サービスや制度の多言語での情報提供
- 子育てアプリやAIチャットボットの情報発信
- 保健師や助産師との連携

② 教育機会の確保と充実

外国にルーツをもつ子どもたちが自らのアイデンティティを大切に、自由に進路選択できるよう、学習支援や手続きの多言語化を推進します。

【施策例】

- Jスクールの情報発信及び支援
- 学校制度や各種手続きの多言語での情報提供

基本方針Ⅱ 共に暮らすまち

日本人住民と外国人住民がお互いを理解し、日常的に交流を持てるよう、異文化交流を含めた事業を通して、互いへの理解と尊重の醸成を図ります。

また、外国人住民も地域社会の一員として地域で共に暮らし、新発田市で長く住んでいくために、日本語及び日本での生活について学ぶ機会を創出します。

4. 多文化を身近にする

① 国際理解講座・交流イベントの開催

日本人と外国人がお互いの違いを認め合うため、文化的違いを知り、言語や文化を超えて交流できる機会を創出します。

【施策例】

- 年1回以上の国際理解講座の継続
- 日本人と外国人が交流できるイベントを開催

② 多文化の発信

文化の違い等による心理的壁を取り除くため、市民が日常的に多文化に触れられるよう努めます。

【施策例】

- SNS等での多文化共生に関する話題の発信
- 交流イベントの様子や他国の年中行事のSNS発信、庁内展示

5. 新発田を知ってもらう

① 生活情報の提供

すべての外国人住民が新発田での生活について正しく知り、ともに安心して暮らしていけるよう、新発田での生活ルール等についてわかりやすく提供します。

【施策例】

- 外国人のための「暮らしのガイド」の充実
- 生活オリエンテーションの実施

② 魅力の発信

新発田に長く住んでもらうため、地域に愛着を持ってもらえるよう取り組むとともに、国内外の外国人にも当市の魅力を知ってもらう機会を増やし、関係人口・交流人口の創出にも繋げていきます。

【施策例】

- 新発田の文化や歴史について知るイベントの開催
- 外国人に向けた多言語での観光・移住PR

6. ことばの壁をなくす

① やさしい日本語の普及

日本語を母語としない外国人住民とのコミュニケーション手段として、一般市民及び行政職員へのやさしい日本語の普及に努めます。

【施策例】

- 一般市民向けやさしい日本語講座及び職員向け研修の実施

② 日本語教育の推進

外国人住民が自立した生活を営む上で必要な日本語能力を育むため、新発田日本語教室との連携体制を維持し、また、日本語ボランティアの養成を図ります。

【施策例】

- 新発田日本語教室の支援・連携
- 日本語ボランティア養成講座の開催

基本方針Ⅲ 共に地域を支えるまち

外国人住民が、日本人住民同様に、居住する地域の担い手として様々な活動に参画し、地域社会に貢献できる環境をつくれます。

7. 外国人材の力で産業活性化

① 地域への就職促進

日本で就職を希望する外国人住民が市内企業で活躍できるよう、ハローワーク等との連携による雇用に関する情報提供や、就業機会の確保に努めます。

【施策例】

- 留学生を対象とした説明会の開催
- 長期的に働いてもらえるための制度の情報提供

② 適正な労働環境の確保

外国人住民も安心して長く働ける職場環境の整備に向け、企業等と連携し、施策を進めます。

【施策例】

- 受入企業同士で情報交換できる場等の提供
- 受入企業を対象とした就業環境整備に関するセミナーの実施
- 市内外国人雇用企業への日本語教室の周知・啓発

8. 外国人住民の力で地域活性化

① グローバルな人材を育成

地域社会の継続や活性化に大切な存在である外国人住民とのコミュニケーションを取るため、グローバルな視点を持つ人材の育成を図ります。

【施策例】

- 小・中・高校や大学で外国文化や多文化共生に触れるワークショップ等の開催
- 友好・姉妹都市との交流を活かした国際交流機会の創出

② 外国人住民の社会参画支援

外国人住民が地域の一員として主体的に活動できるよう、地域の多文化共生への理解を促進するとともに、外国人住民が地域行事等に参加できる機会の創出に努めます。

【施策例】

- 自治会・町内会向け多文化共生セミナーの開催
- 市民団体やボランティアと連携し、市内各行事への参加の促進
- 災害ボランティアや観光ボランティアへの参加の促進

③ 地域の活性化・グローバル化

急速に進展するグローバル化に対応し、その恩恵を地域にもたらすため、グローバル人材との連携や、外国人住民が違いを活かして活躍できる仕組みづくりを推進します。

【施策例】

- 日本語教育や国際分野を学ぶ学生との各種分野での連携
- キーパーソン及び行政と連携できるコミュニティの発掘
- 外国人が自主的に地域貢献できる仕組みの創出



多文化共生コーディネーター主催
「米作り体験 de 国際交流！」(R5.5月)

本指針をもとに、国籍や文化に関わらず、外国人住民も等しく新発田市民の一員として地域に溶け込み、言語、文化的な違いがその人を構成する大切なアイデンティティの一つとして尊重され、地域を支えるパートナーとして共に地域社会に参画する社会を目指します。

資料編

資料1	「地域における多文化共生推進プラン」改訂の概要	17
資料2	在留資格一覧表	17
資料3	各種外国人住民データ	18
	1. 市内国別人口及び割合	
	2. 上位3か国の在留資格について	
	3. 新潟県内の市町村別外国人住民数の割合	
	4. 新発田市における外国人住民の使用言語について	
資料4	新発田市アンケート調査結果（抜粋）	
	1. 外国人住民アンケート.....	21
	2. 日本人住民アンケート.....	33

資料1

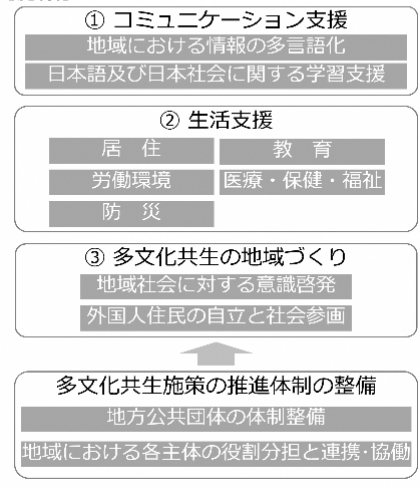
「地域における多文化共生推進プラン」改訂の概要

現行プラン(2006年)

【背景・趣旨】

- 日系南米人等の外国人住民の増加を背景に、従来の「国際交流」や「国際協力」に加え、「地域における多文化共生」の推進が必要。
- 都道府県・市区町村における多文化共生の推進に係る指針・計画の策定に資するため、外国人を地域で生活する住民として捉える観点から、総務省プランを策定。

【施策】

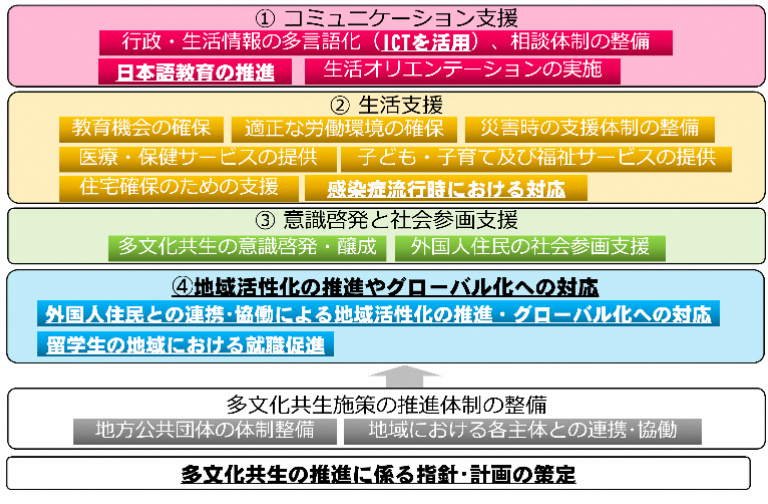


改訂プラン(2020年)

【背景・趣旨】

- 外国人住民の増加・多国籍化、在留資格「特定技能」の創設、多様性・包摂性のある社会実現の動き、デジタル化の進展、気象災害の激甚化といった社会経済情勢の変化に対応することが必要。
- 社会経済情勢の変化を経た上で多文化共生施策を推進する今日的意義は次のとおり。
(1)多様性と包摂性のある社会の実現による「新たな日常」の構築
(2)外国人住民による地域の活性化やグローバル化への貢献
(3)地域社会への外国人住民の積極的な参画と多様な担い手の確保
(4)受け入れ環境の整備による都市部に集中しないかたちでの外国人材受け入れの実現

【施策】



出典：総務省ホームページ

資料2

在留資格一覧表



就労が認められる在留資格（活動制限あり）

在留資格	該当例
外交	外国政府の大使、公使等及びその家族
公用	外国政府等の公務に従事する者及びその家族
教授	大学教授等
芸術	作曲家、画家、作家等
宗教	外国の宗教団体から派遣される宣教師等
報道	外国の報道機関の記者、カメラマン等
高度専門職	ポイント制による高度人材
経営・管理	企業等の経営者、管理者等
法律・会計業務	弁護士、公認会計士等
医療	医師、歯科医師、看護師等
研究	政府関係機関や企業等の研究者等
教育	高等学校、中学校等の語学教師等
技術・人文知識・国際業務	機械工学等の技術者等、通訳、デザイナー、語学講師等
企業内転勤	外国の事務所からの転勤者
介護	介護福祉士
興行	俳優、歌手、プロスポーツ選手等
技能	外国料理の調理師、スポーツ指導者等
特定技能	特定産業分野（注1）の各業務従事者
技能実習	技能実習生

（注1）介護、ビルクリーニング、素形材・産業機械・電気電子情報関連製造業、建設、造船・船用工業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食品製造業、外食業（令和4年4月26日閣議決定）

身分・地位に基づく在留資格（活動制限なし）

在留資格	該当例
永住者	永住許可を受けた者
日本人の配偶者等	日本人の配偶者・実子・特別養子
永住者の配偶者等	永住者・特別永住者の配偶者、我が国で出生し引き続き在留している実子
定住者	日系3世、外国人配偶者の連れ子等

就労の可否は指定される活動によるもの

在留資格	該当例
特定活動	外交官等の家事使用人、ワーキングホリデー等

就労が認められない在留資格（注2）

在留資格	該当例
文化活動	日本文化の研究者等
短期滞在	観光客、会議参加者等
留学	大学、専門学校、日本語学校等の学生
研修	研修生
家族滞在	就労資格等で在留する外国人の配偶者、子

（注2）資格外活動許可を受けた場合は、一定の範囲内で就労が認められる。

出典：総務省ホームページ

資料3

各種外国人住民データ

1. 市内国別人口及び割合

新発田市の総人口（人）	93,463	比率
新発田市の外国人市民数（人）	670	0.72%

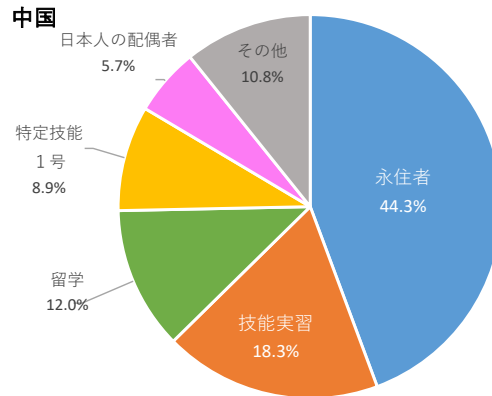
順位	国籍	登録者数	割合
1	中国	158	23.58%
2	ベトナム	156	23.28%
3	フィリピン	69	10.30%
4	パキスタン	55	8.21%
5	韓国	48	7.16%
6	インドネシア	35	5.22%
7	カンボジア	24	3.58%
8	タイ	19	2.83%
9	ロシア	16	2.39%
10	ネパール	15	2.24%
11	バングラデシュ	12	1.79%
11	米国	12	1.79%
13	ミャンマー	9	1.34%
14	ブラジル	5	0.74%
15	イギリス	4	0.60%
15	スリランカ	4	0.60%
15	モンゴル	4	0.60%
18	ブータン	3	0.45%
18	メキシコ	3	0.45%
20	カナダ	2	0.30%
20	ガーナ	2	0.30%
20	台湾	2	0.30%
20	朝鮮	2	0.30%
24	イタリア	1	0.15%
24	イラン	1	0.15%
24	インド	1	0.15%
24	ウクライナ	1	0.15%
24	オランダ	1	0.15%
24	オーストラリア	1	0.15%
24	オーストリア	1	0.15%
24	スウェーデン	1	0.15%
24	ドイツ	1	0.15%
24	バハマ	1	0.15%
24	フランス	1	0.15%
合計	34カ国	670	100.00%

(住民基本台帳：2023年4月末)

2. 上位3か国の在留資格について

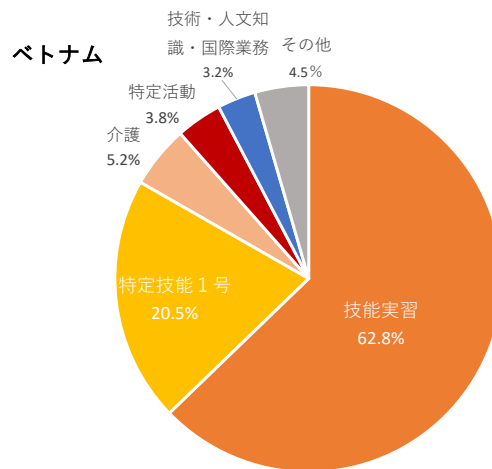
1位 中国 158人

在留資格	人数	割合
永住者	70	44.3%
技能実習	29	18.3%
留学	19	12.0%
特定技能1号	14	8.9%
日本人の配偶者	9	5.7%
その他	17	10.8%



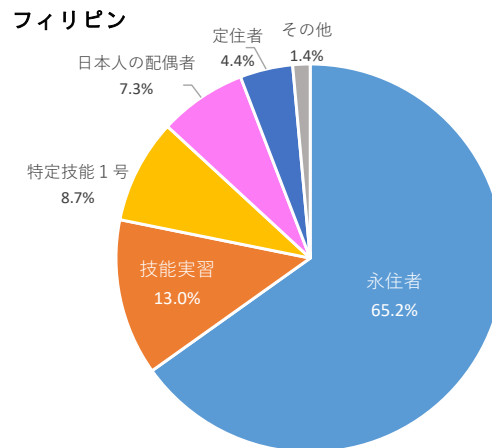
2位 ベトナム 156人

在留資格	人数	割合
技能実習	98	62.8%
特定技能1号	32	20.5%
介護	8	5.2%
特定活動	6	3.8%
技術・人文知識・国際業務	5	3.2%
その他	7	4.5%



3位 フィリピン 69人

在留資格	人数	割合
永住者	45	65.2%
技能実習	9	13.0%
特定技能1号	6	8.7%
日本人の配偶者	5	7.3%
定住者	3	4.4%
その他	1	1.4%



(住民基本台帳：2023年4月末)

3. 新潟県内の市町村別外国人住民数の割合

順位	市町村	外国人の割合	外国人住民数	日本人市民数	順位	市町村	外国人の割合	外国人住民数	日本人市民数
1	湯沢町	3.01%	233	7,738	16	刈羽村	0.72%	31	4,320
2	南魚沼市	2.18%	1,151	52,811	17	出雲崎町	0.71%	29	4,090
3	聖籠町	1.95%	270	13,859	18	三条市	0.7%	651	92,752
4	津南町	1.52%	133	8,732	19	新発田市	0.69%	645	93,453
5	妙高市	1.50%	448	29,897	20	魚沼市	0.69%	230	33,492
6	小千谷市	1.21%	404	33,318	21	十日町市	0.65%	319	48,853
7	胎内市	1.19%	326	27,392	22	村上市	0.57%	315	55,604
8	柏崎市	1.10%	855	78,046	23	田上町	0.54%	59	10,964
9	上越市	1.08%	1,983	182,958	24	見附市	0.53%	206	38,839
10	五泉市	1.04%	485	46,789	25	佐渡市	0.45%	228	50,423
11	糸魚川市	1.03%	405	39,367	26	加茂市	0.43%	108	24,944
12	長岡市	0.96%	2,495	258,792	27	阿賀町	0.42%	41	9,738
13	阿賀野市	0.82%	327	40,026	28	弥彦村	0.39%	30	7,664
14	燕市	0.77%	595	76,806	29	関川村	0.34%	17	4,979
15	新潟市	0.75%	5,737	768,177	30	粟島浦村	0.3%	1	328
新潟県計							0.87%	18,757	2,145,151

出典：政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>)

「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
の結果を基に新発田市市民まちづくり支援課作成

(2023年1月1日時点)

4. 新発田市における外国人住民の使用言語について

言語（公用語）	人数	割合	主な国（市内在住者）
1 中国語	160	23.9%	中国、台湾
2 ベトナム語	156	23.3%	ベトナム
3 英語	69	10.3%	フィリピン、米国、イギリスなど
4 ウルドゥー語	55	8.2%	パキスタン
5 韓国・朝鮮語	48	7.2%	韓国・朝鮮
6 インドネシア語	35	5.2%	インドネシア
7 クメール語	24	3.6%	カンボジア
8 タイ語	19	2.8%	タイ
9 ロシア語	16	2.4%	ロシア
10 ネパール語	15	2.2%	ネパール
その他	73	10.9%	

(住民基本台帳の国籍データから推定)

(2023年4月末時点)

資料4

新発田市アンケート調査結果（抜粋）

1. 外国人住民アンケート

(1) 概要

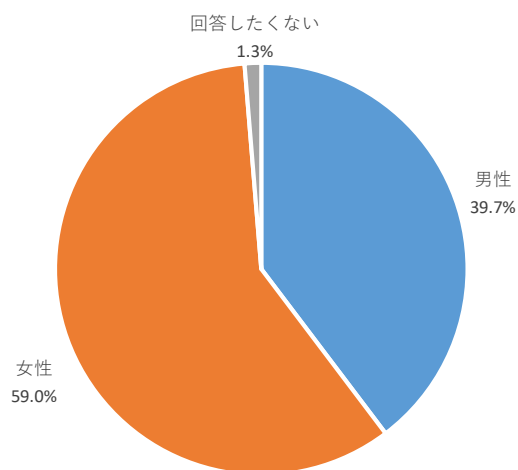
- 調査対象：外国人住民400名（18歳以上）
- 調査期間：令和5年3月15日～5月12日
- 調査方法：郵送配布・回収
- 回答者数：78名（約20%）
- 使用言語：やさしい日本語
- 設問によって複数回答も含む

(2) 結果

【あなたのことについて】

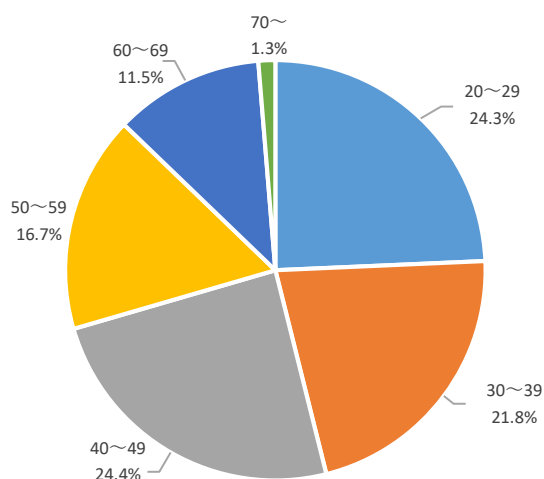
質問1 性別を教えてください

	人	%
男性	31	39.7
女性	46	59.0
回答したくない	1	1.3
無回答	0	0.0
合計	78	100.0



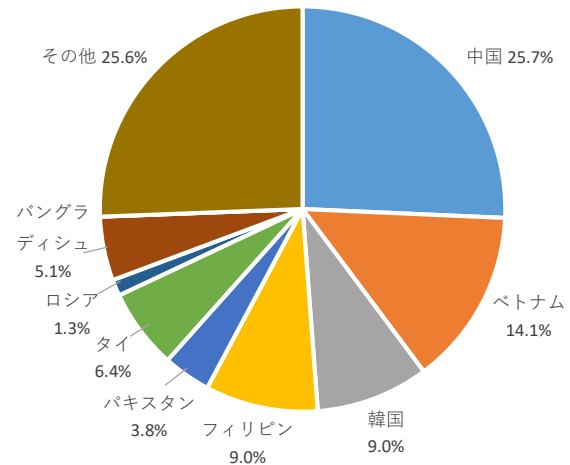
質問2 何才ですか

	人	%
18～19	0	0.0
20～29	19	24.3
30～39	17	21.8
40～49	19	24.4
50～59	13	16.7
60～69	9	11.5
70～	1	1.3
無回答	0	0.0
合計	78	100.0



質問3 国はどちらですか

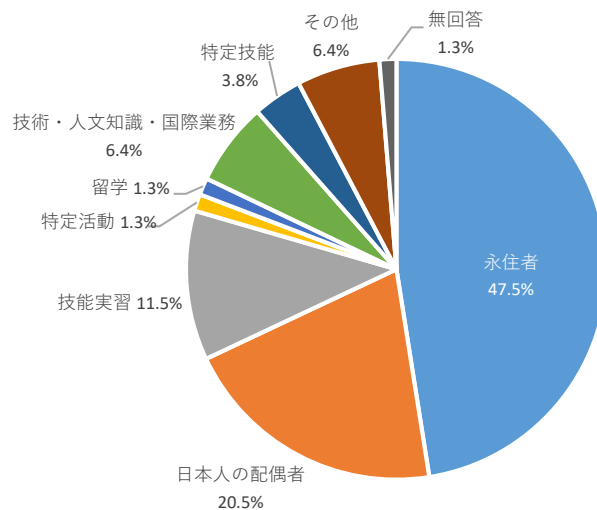
	人	%
中国	20	25.7
ベトナム	11	14.1
韓国	7	9.0
フィリピン	7	9.0
パキスタン	3	3.8
タイ	5	6.4
ロシア	1	1.3
バングラディシュ	4	5.1
その他	20	25.6
無回答	0	0.0
合計	78	100.0



その他：アメリカ、イギリス、スウェーデン、インドネシア、スリランカ、メキシコ、ブータン、ネパール

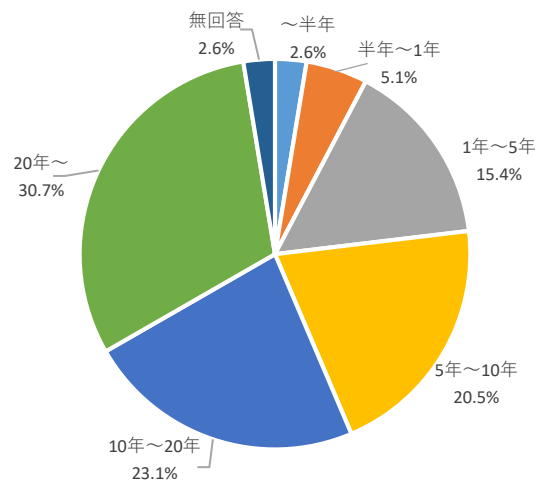
質問4 あなたの在留資格はどれですか

	人	%
永住者	37	47.5
日本人の配偶者	16	20.5
技能実習	9	11.5
特定活動	1	1.3
留学	1	1.3
技術・人文知識・国際業務	5	6.4
特定技能	3	3.8
その他	5	6.4
無回答	1	1.3
合計	78	100.0



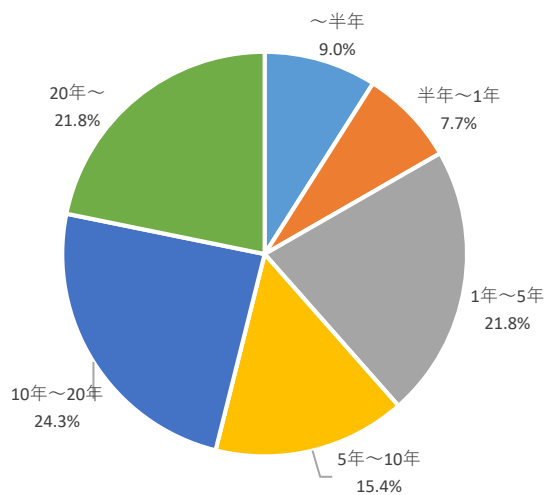
質問5 日本に住んで、全部で何年になりますか

	人	%
～半年	2	2.6
半年～1年	4	5.1
1年～5年	12	15.4
5年～10年	16	20.5
10年～20年	18	23.1
20年～	24	30.7
無回答	2	2.6
合計	78	100.0



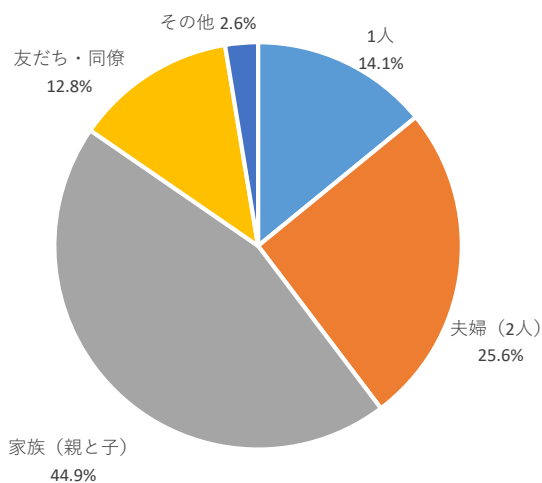
質問6 新発田市に住んで、全部で何年になりますか

	人	%
～半年	7	9.0
半年～1年	6	7.7
1年～5年	17	21.8
5年～10年	12	15.4
10年～20年	19	24.3
20年～	17	21.8
無回答	0	0.0
合計	78	100.0



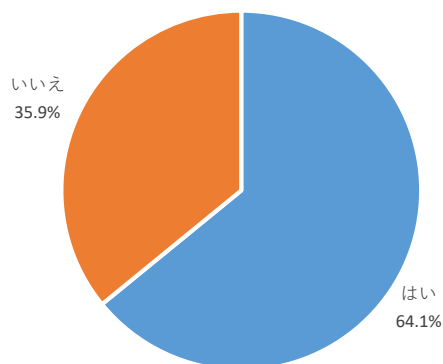
質問7 一緒に住んでいる家族について

	人	%
1人	11	14.1
夫婦（2人）	20	25.6
家族（親と子）	35	44.9
友だち・同僚	10	12.8
その他	2	2.6
無回答	0	0.0
合計	78	100.0



質問8 家族の中に日本人はいますか

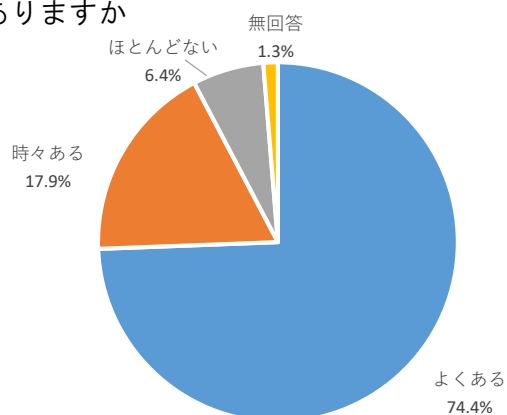
	人	%
はい	50	64.1
いいえ	28	35.9
無回答	0	0.0
合計	78	100.0



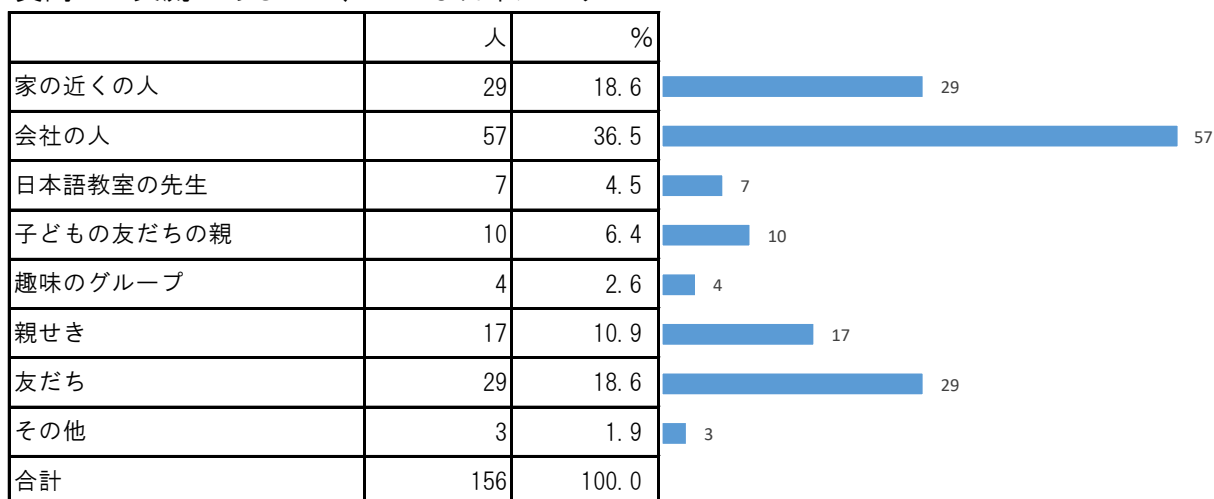
【周りの人との交流について】

質問9 生活の中で日本人（家族以外）との交流はありますか

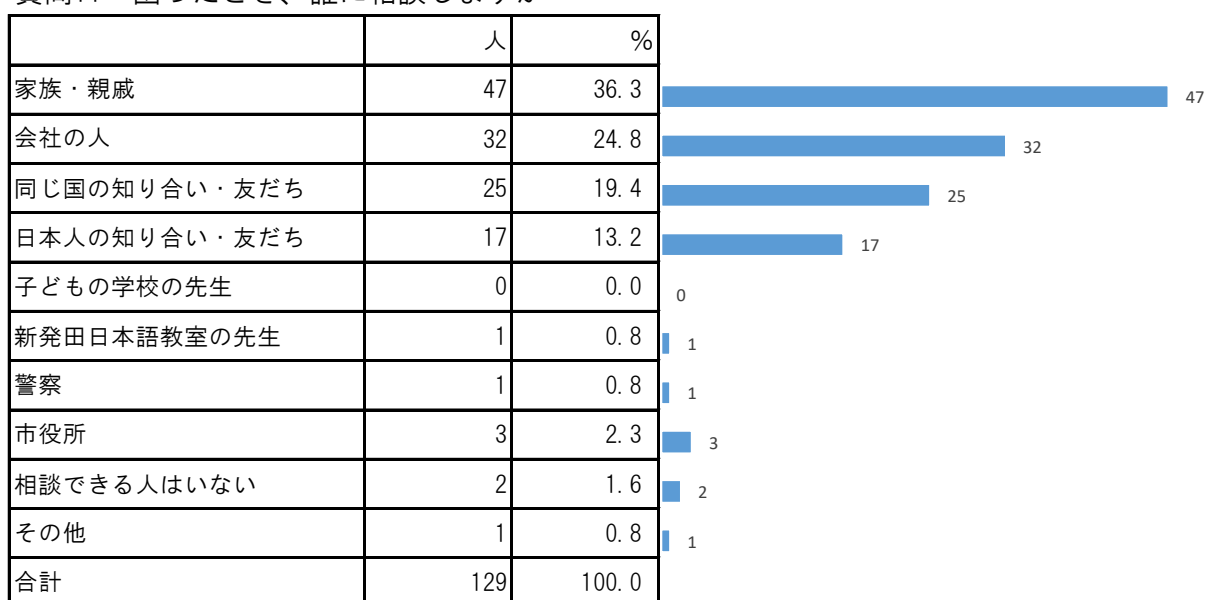
	人	%
よくある	58	74.4
時々ある	14	17.9
ほとんどない	5	6.4
まったくない	0	0.0
無回答	1	1.3
合計	78	100.0



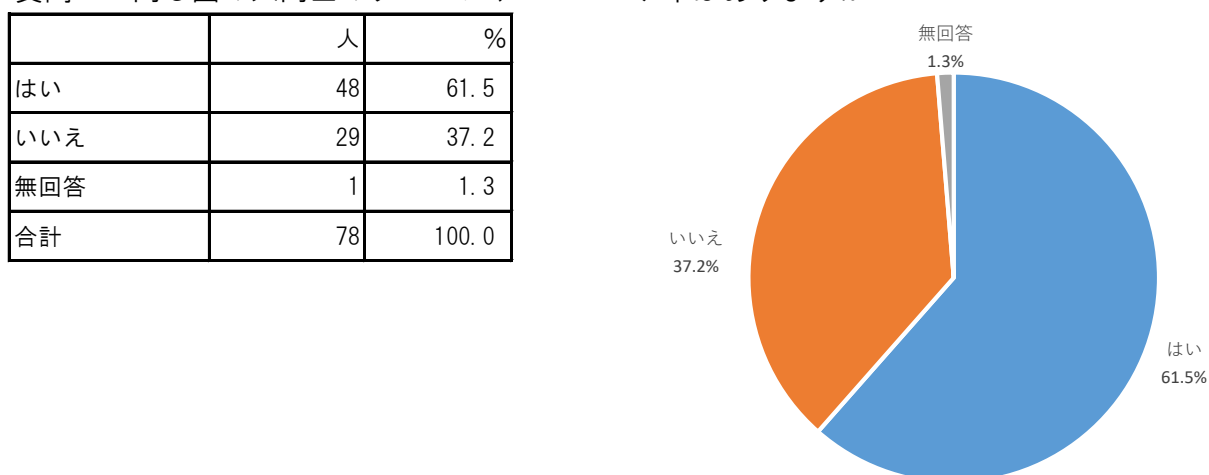
質問10 交流があるのは、どんな日本人ですか



質問11 困ったとき、誰に相談しますか



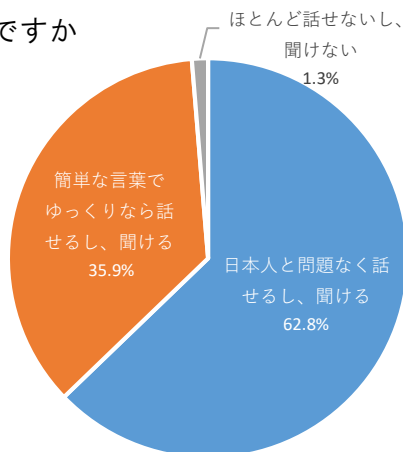
質問12 同じ国の人同士のグループやコミュニティはありますか



【日本語について】

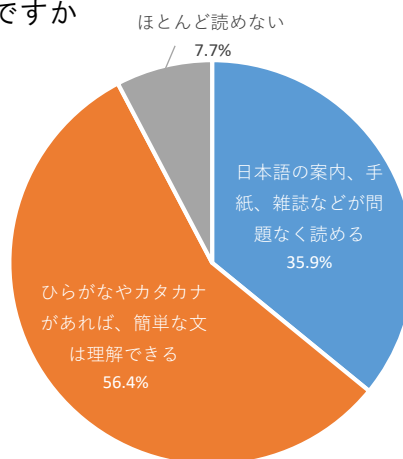
質問13 あなたの日本語（会話）のレベルはどれくらいですか

	人	%
日本人と問題なく話せるし、聞ける	49	62.8
簡単な言葉でゆっくりなら話せるし、聞ける	28	35.9
ほとんど話せないし、聞けない	1	1.3
無回答		0.0
合計	78	100.0



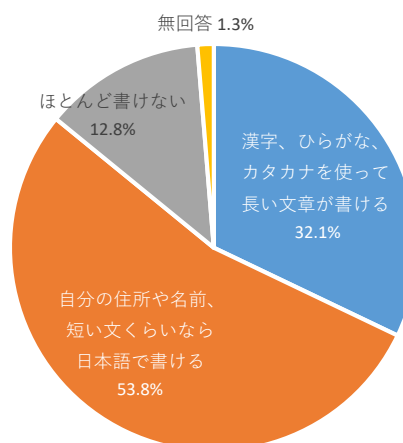
質問14 あなたの日本語（読む）のレベルはどれくらいですか

	人	%
日本語の案内、手紙、雑誌などが問題なく読める	28	35.9
ひらがなやカタカナがあれば、簡単な文は理解できる	44	56.4
ほとんど読めない	6	7.7
無回答		0.0
合計	78	100.0

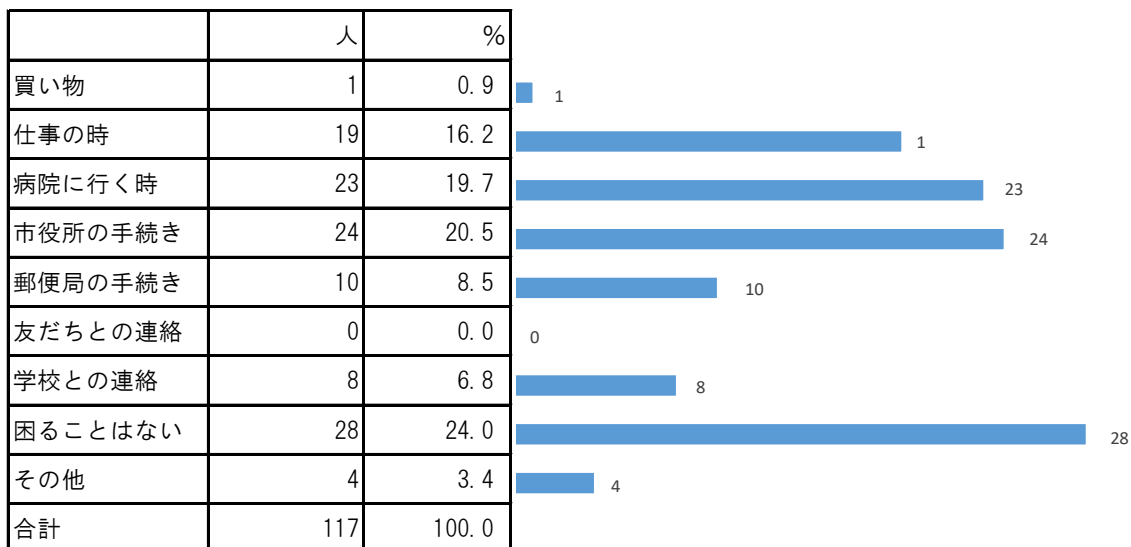


質問15 あなたの日本語（書く）のレベルはどれくらいですか

	人	%
漢字、ひらがな、カタカナを使って長い文章が書ける	25	32.1
自分の住所や名前、短い文くらいなら日本語で書ける	42	53.8
ほとんど書けない	10	12.8
無回答	1	1.3
合計	78	100.0



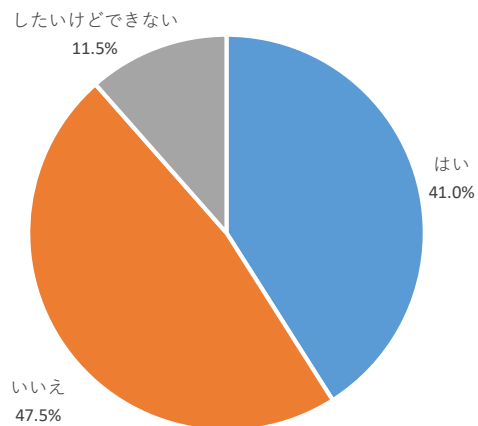
質問16 日本語ができなくて困るのは、どんな時ですか



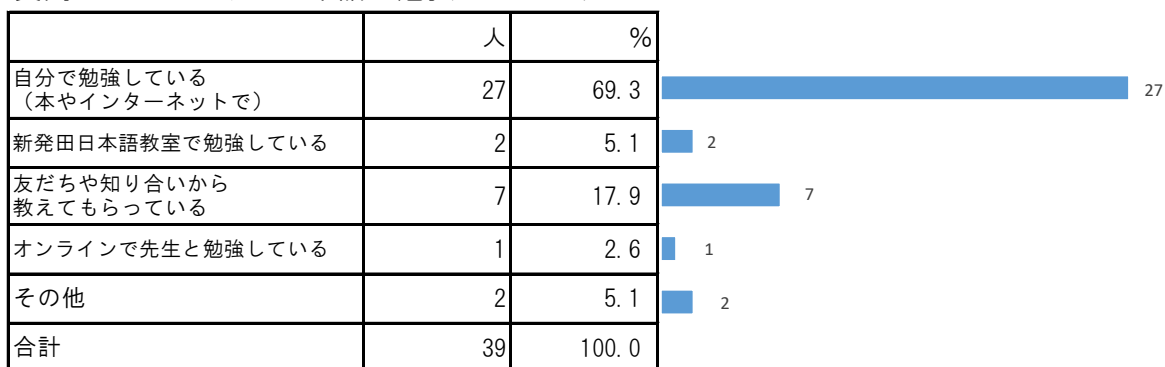
その他：慣れないことや新しく勉強してきたこと、役員をするとき、仕事を探したとき、友だちをつくる時

質問17 今、日本語を勉強していますか

	人	%
はい	32	41.0
いいえ	37	47.5
したいけどできない	9	11.5
無回答		0.0
合計	78	100.0

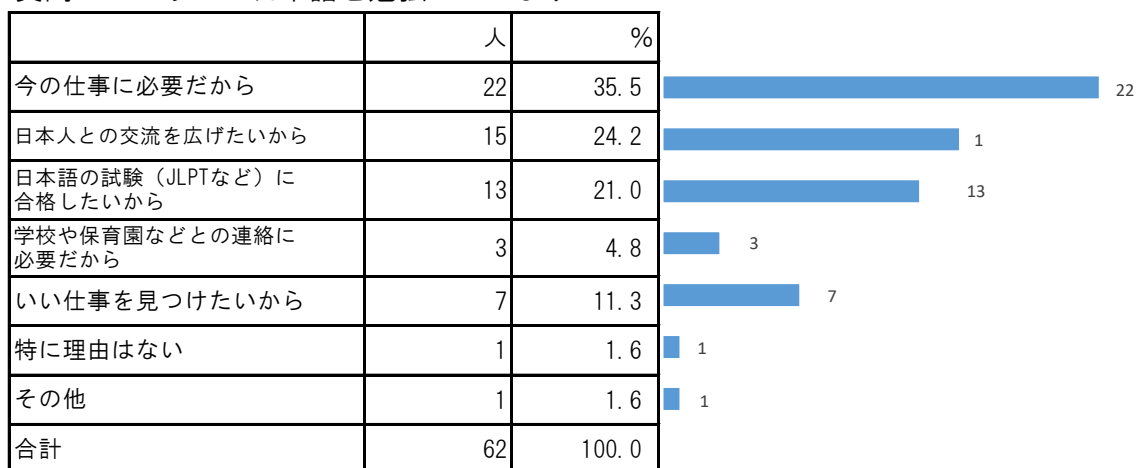


質問18 どのように日本語を勉強していますか

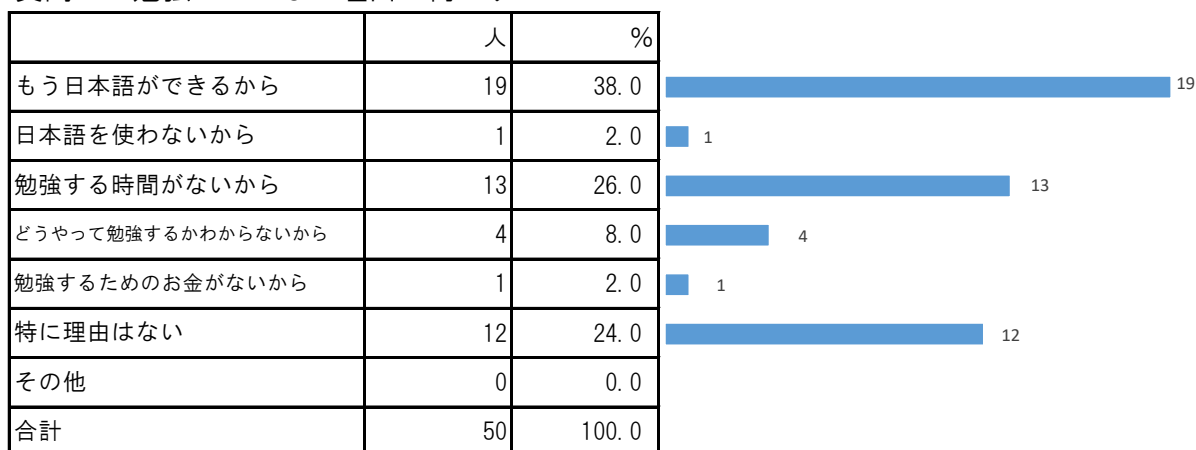


その他：大学の日本語の授業、学校

質問19 どうして日本語を勉強していますか

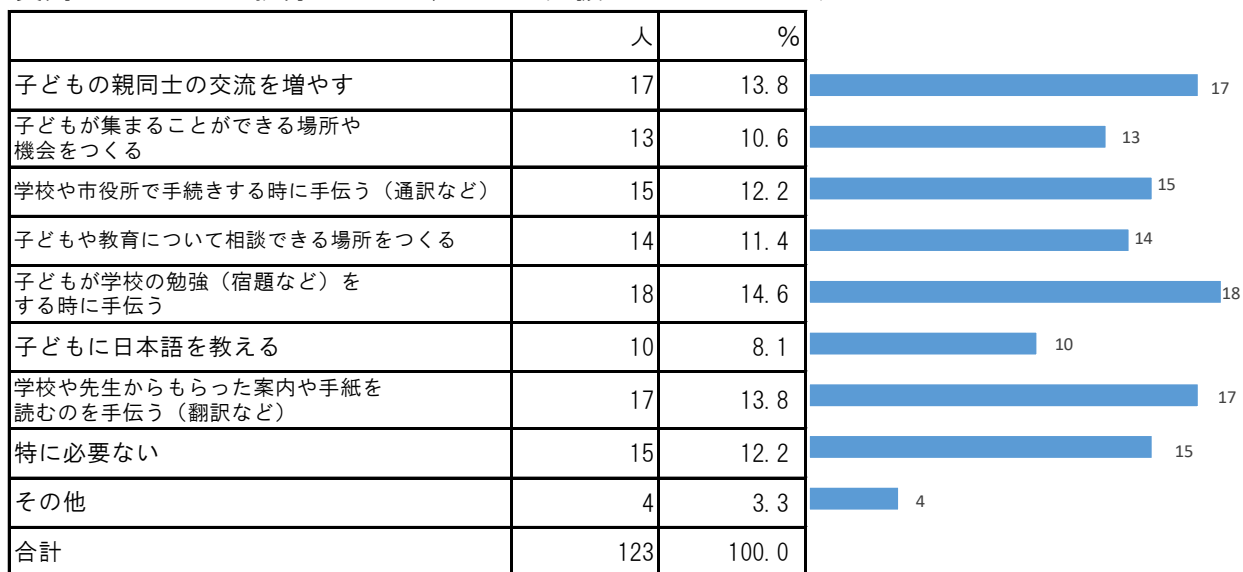


質問20 勉強していない理由は何ですか



【子ども・教育について】

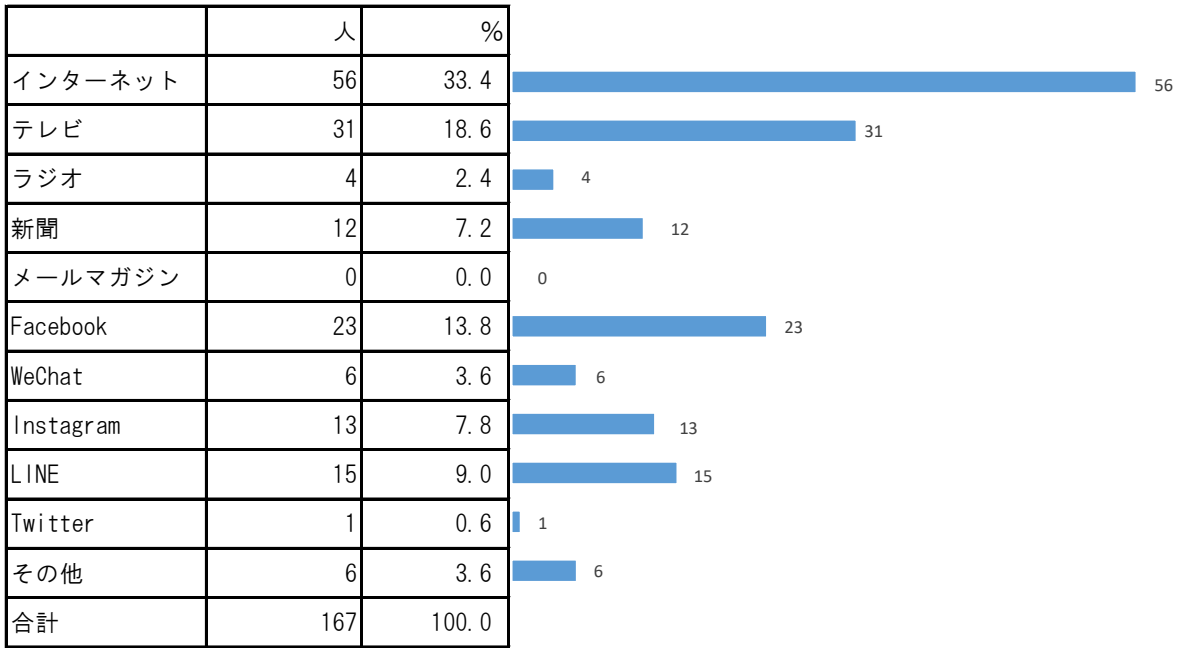
質問21 子どもや教育のために、どんな支援があるといいですか



その他：経済的支援

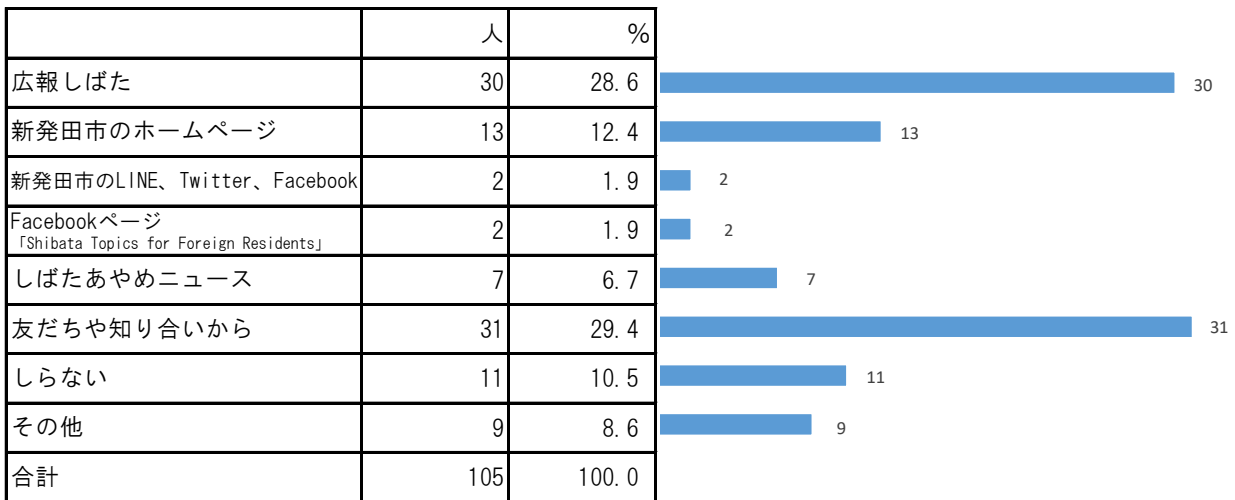
【情報について】

質問22 情報を知るために、いつも何を使っていますか



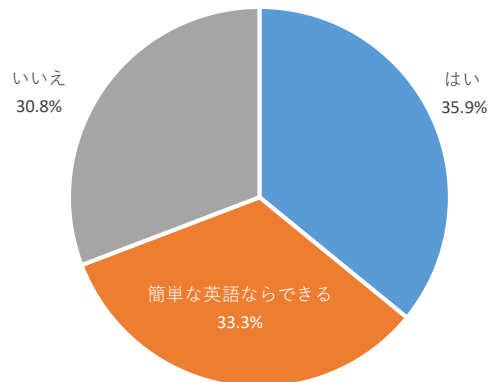
その他：tiktok、youtube、会社、家族

質問23 新発田市についての情報は、どうやって知っていますか



質問24 英語で書かれた情報は理解できますか

	人	%
はい	28	35.9
簡単な英語なら できる	26	33.3
いいえ	24	30.8
無回答	0	0.0
合計	78	100.0



【病院について】

質問25 病院に行く時に、困ることは何ですか

	人	%
どの病院へ行けばいいかわからない	17	14.3
予約の取り方がわからない	17	14.3
日本語がわからないので、看護師や医師とのコミュニケーションが不安	19	16.0
日本の病院の制度がよくわからない	9	7.6
お金が高い	17	14.3
保険のことがよくわからない	6	5.0
困ることはない	30	25.1
その他	4	3.4
合計	119	100.0

その他：医療用語がわからない、付き添いがいない

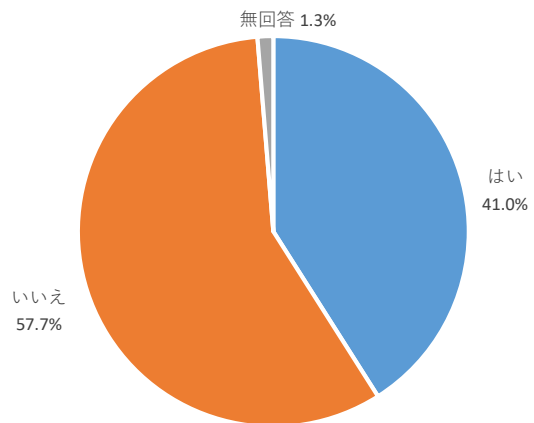
【災害・防災について】

質問26 災害の時に、どうやって情報を知っていますか

	人	%
テレビ	47	30.2
ラジオ	7	4.5
インターネット	47	30.1
防災やニュースアプリ	18	11.5
市役所のメール	2	1.3
友だちや知り合い	28	17.9
その他	7	4.5
合計	156	100.0

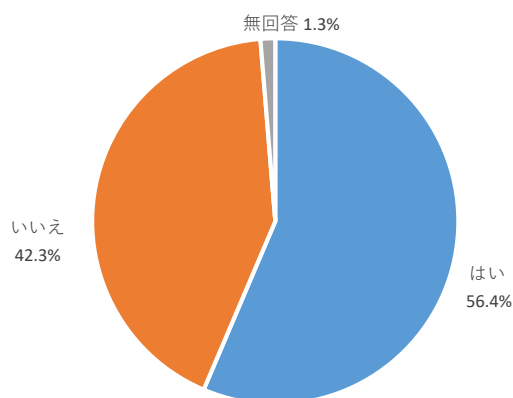
質問27 災害が起こった時のための準備をしていますか

	人	%
はい	32	41.0
いいえ	45	57.7
無回答	1	1.3
合計	78	100.0



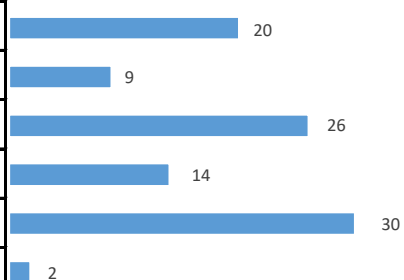
質問28 災害の時に、逃げる場所を知っていますか

	人	%
はい	44	56.4
いいえ	33	42.3
無回答	1	1.3
合計	78	100.0



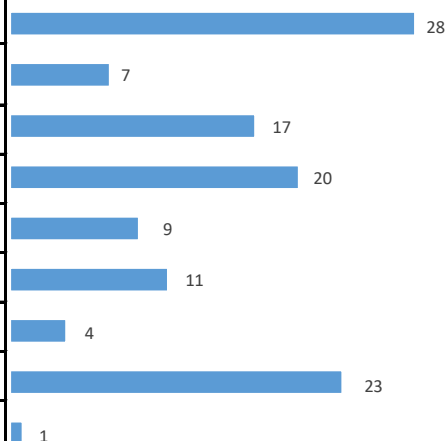
質問29 災害の時に、心配なことはありますか

	人	%
まずどこに電話すればいいかわからない	20	19.8
言葉がわからないので情報が得られない	9	8.9
いつ逃げればいいかわからない	26	25.7
家族とどう連絡をとるか決めていない	14	13.9
特にない	30	29.7
その他	2	2.0
合計	101	100.0



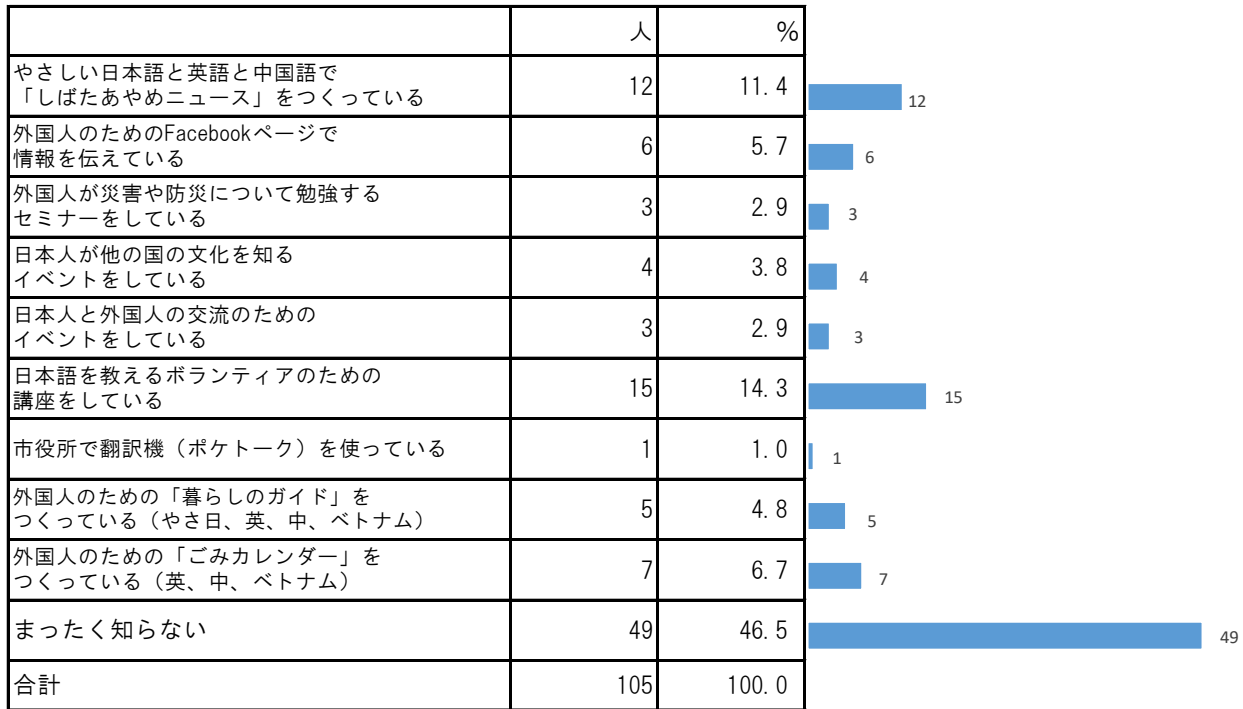
質問30 避難所について、心配なことはありますか

	人	%
どこにあるかわからない	28	23.3
日本語がわからないので、看護師や医師とのコミュニケーションが不安	7	5.8
ルールやマナーがわからない	17	14.2
知らない人といっしょにいるのが不安	20	16.7
男性と女性が一緒にいるのが不安	9	7.5
アレルギーや宗教で食べ物が不安	11	9.2
お祈りできる場所があるか不安	4	3.3
とくにない	23	19.2
その他	1	0.8
合計	120	100.0

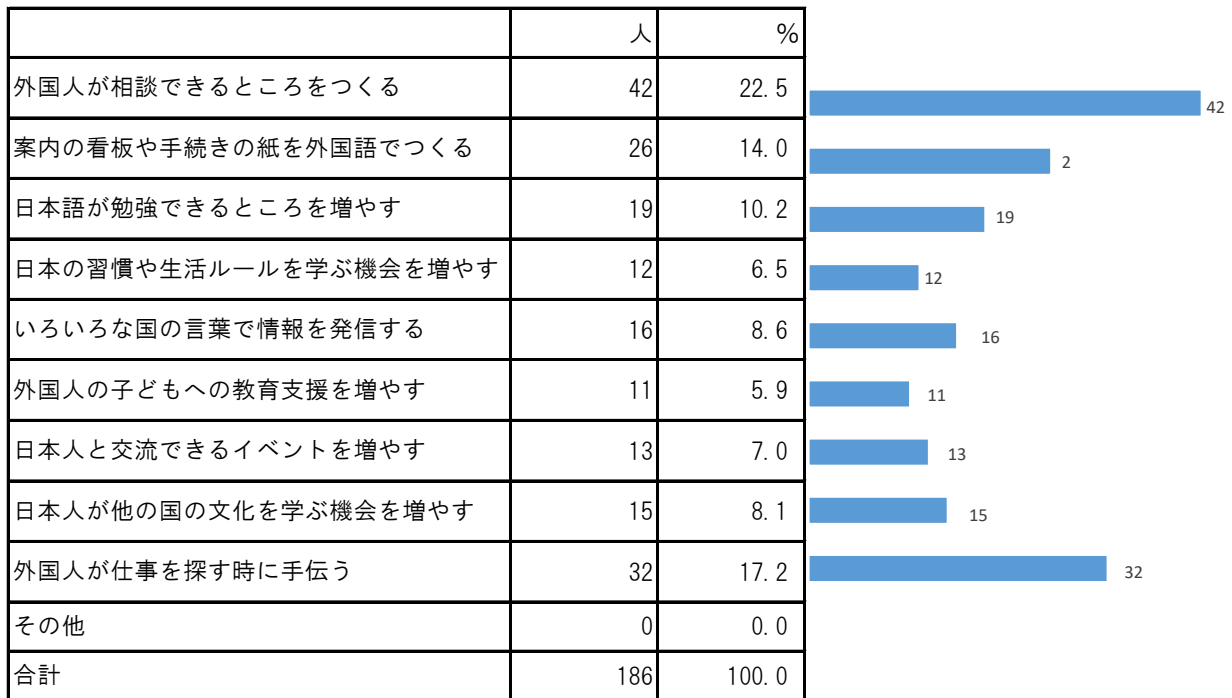


【市役所の取組について】

質問31 今、新発田市役所が外国人の支援のためにしている仕事で知っているものはありますか



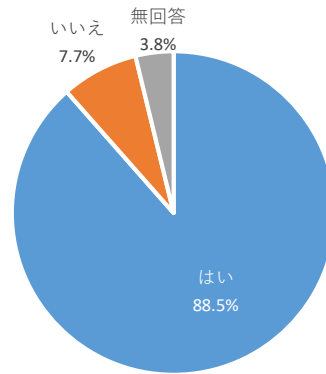
質問32 外国人にとってもっと住みやすいまちにするために、新発田市役所はどんなサービスをしたほうがいいと思いますか。



【その他】

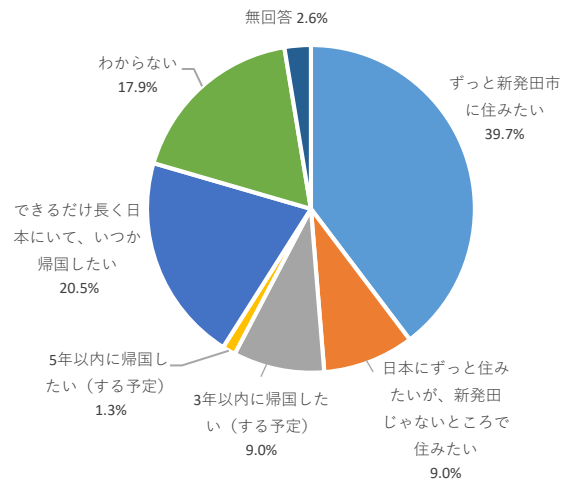
質問33 新発田市は住みやすいですか

	人	%
はい	69	88.5
いいえ	6	7.7
無回答	3	3.8
合計	78	100.0



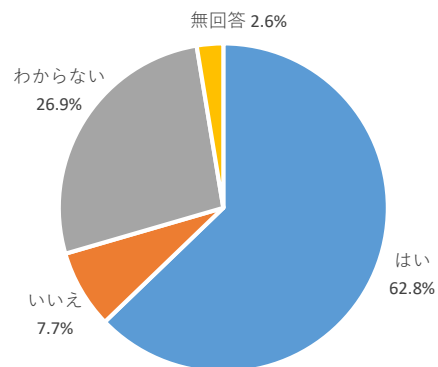
質問34 これからも新発田市に住みたいですか

	人	%
ずっと新発田市に住みたい	31	39.7
日本にずっと住みたいが、新発田じゃないところで住みたい	7	9.0
3年以内に帰国したい(する予定)	7	9.0
5年以内の帰国したい(する予定)	1	1.3
できるだけ長く日本にいて、いつか帰国したい	16	20.5
わからない	14	17.9
無回答	2	2.6
合計	78	100.0



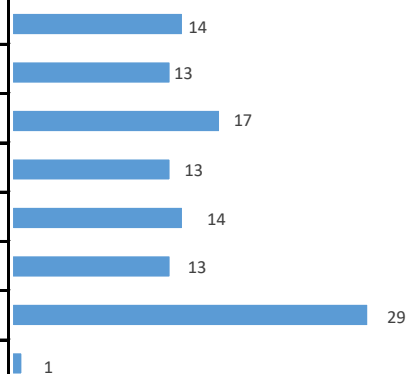
質問35 日本人ともっと交流したいと思いますか

	人	%
はい	49	62.8
いいえ	6	7.7
わからない	21	26.9
無回答	2	2.6
合計	78	100.0



質問36 あなたが新発田市のまちづくりのためにしてみたいことはありますか

	人	%
まちの掃除や祭りの手伝い	14	12.3
日本人に自分の国の文化や言葉を教える	13	11.4
これから新発田市に来る外国人を手伝う	17	14.9
翻訳や通訳をする	13	11.4
災害の時にボランティアをする	14	12.3
市役所からの情報を周りの外国人に伝える	13	11.4
特にない	29	25.4
その他	1	0.9
合計	114	100.0



2. 日本人住民アンケート

(1) 概要

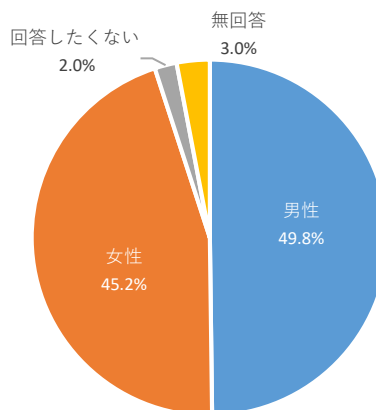
- 調査対象：日本人市民750名（18歳以上）
- 調査期間：令和5年3月15日～5月12日
- 調査方法：郵送配布・回収
- 回答者数：199名（約27%）
- 設問によって複数回答を含む

(2) 結果

【あなたのことについて】

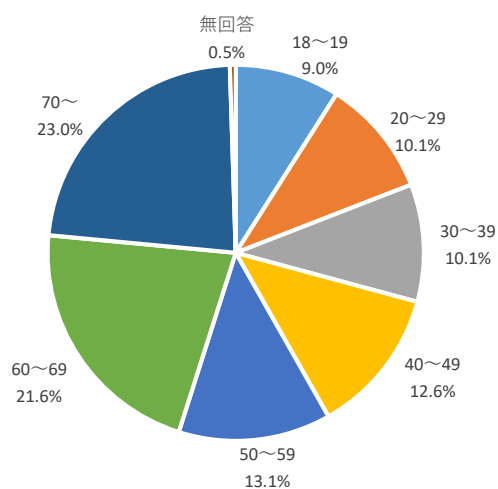
質問1 性別を教えてください

	人	%
男性	99	49.8
女性	90	45.2
回答したくない	4	2.0
無回答	6	3.0
合計	199	100.0



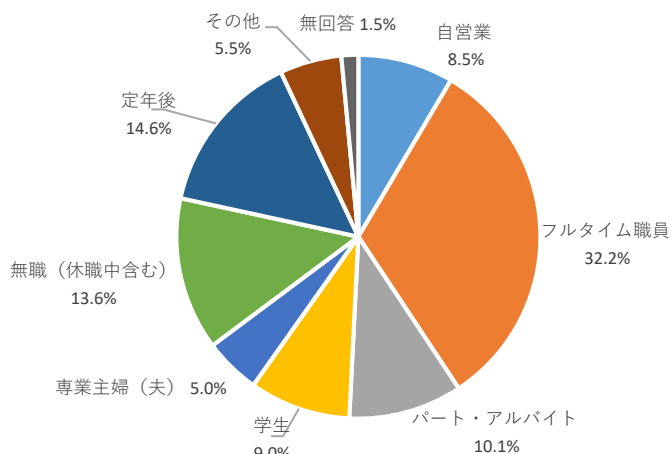
質問2 年齢

	人	%
18～19	18	9.0
20～29	20	10.1
30～39	20	10.1
40～49	25	12.6
50～59	26	13.1
60～69	43	21.6
70～	46	23.0
無回答	1	0.5
合計	199	100.0



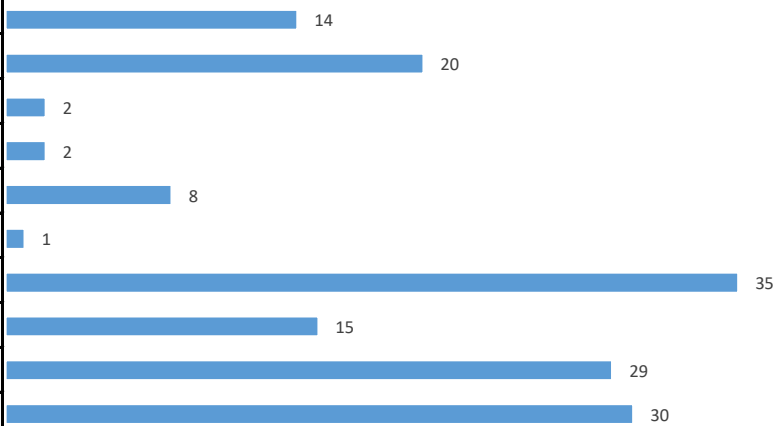
質問3 仕事

	人	%
自営業	17	8.5
フルタイム職員	64	32.2
パート・アルバイト	20	10.1
学生	18	9.0
専業主婦（夫）	10	5.0
無職（休職中含む）	27	13.6
定年後	29	14.6
その他	11	5.5
無回答	3	1.5
合計	199	100.0



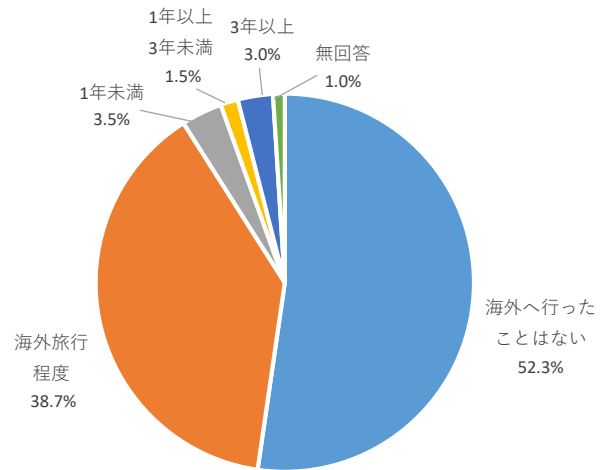
質問4 業種

	人	%
建設	14	9.0
製造	20	12.8
農林水産	2	1.3
情報通信	2	1.3
卸小売	8	5.1
金融保険	1	0.6
サービス	35	22.5
教育・福祉	15	9.6
その他	29	18.6
無回答	30	19.2
合計	156	100.0



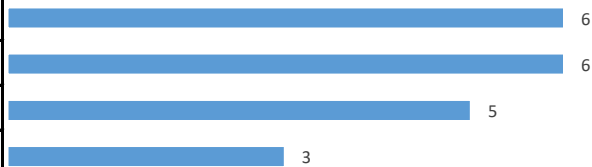
質問5 海外渡航歴および滞在歴（通算）

	人	%
海外へ行ったことはない	104	52.3
海外旅行程度	77	38.7
1年未満	7	3.5
1年以上3年未満	3	1.5
3年以上	6	3.0
無回答	2	1.0
合計	199	100.0



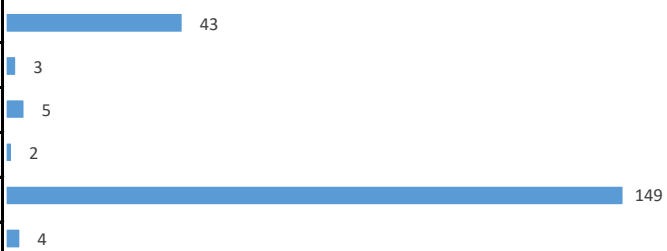
質問6 滞在の目的は何ですか

	人	%
留学	6	30.0
仕事	6	30.0
家族帯同	5	25.0
その他	3	15.0
無回答	0	0.0
合計	20	100.0



質問7 話せる外国語

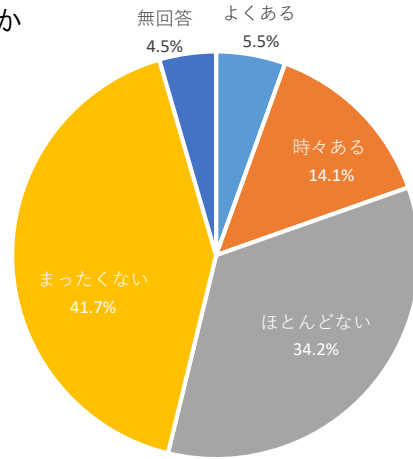
	人	%
英語	43	20.9
中国語	3	1.5
韓国語	5	2.4
スペイン語	2	1.0
ない	149	72.3
その他	4	1.9
合計	206	100.0



【外国人との交流について】

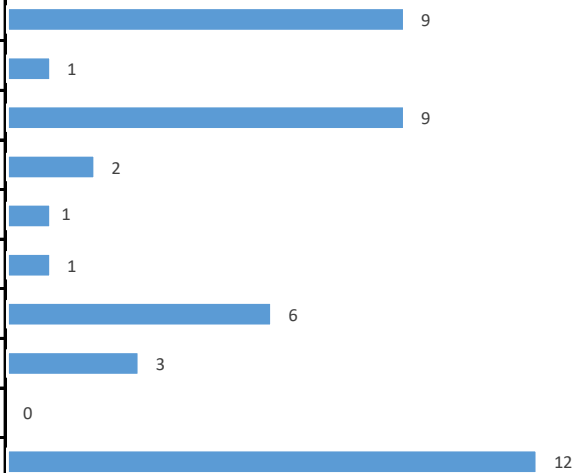
質問8 日常生活の中で外国の方と接する機会はありますか

	人	%
よくある	11	5.5
時々ある	28	14.1
ほとんどない	68	34.2
まったくない	83	41.7
無回答	9	4.5
合計	199	100.0



質問9 どのような関わり方、交流ですか

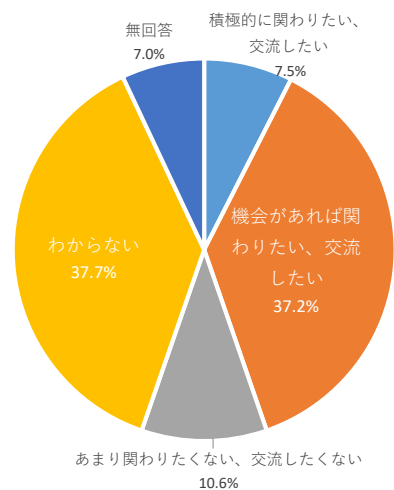
	人	%
お店や道端で見かける	9	20.5
近所に住んでいる方と挨拶する	1	2.3
同じ職場で働いている	9	20.5
同じ学校に通っている	2	4.5
地域（町内会活動など）で交流する	1	2.3
子どもの親同士のつながりがある	1	2.3
友人や家族など私的な付き合い	6	13.6
趣味のグループやサークル活動	3	6.8
外国の方の支援活動をしている	0	0.0
その他	12	27.2
合計	44	100.0



その他：大学、大学の講師が外国人、お客様として接する機会がある、仕事、職場の英語教室、学校施設職員として、交流大会、中国人技能実習生への日本語教室、仕事関係でALTと喋る

質問10 今後、外国人住民とどのように関わりたいと思いますか

	人	%
積極的に関わりたい、交流したい	15	7.5
機会があれば関わりたい、交流したい	74	37.2
あまり関わりたいくない、交流したくない	21	10.6
わからない	75	37.7
無回答	14	7.0
合計	199	100.0



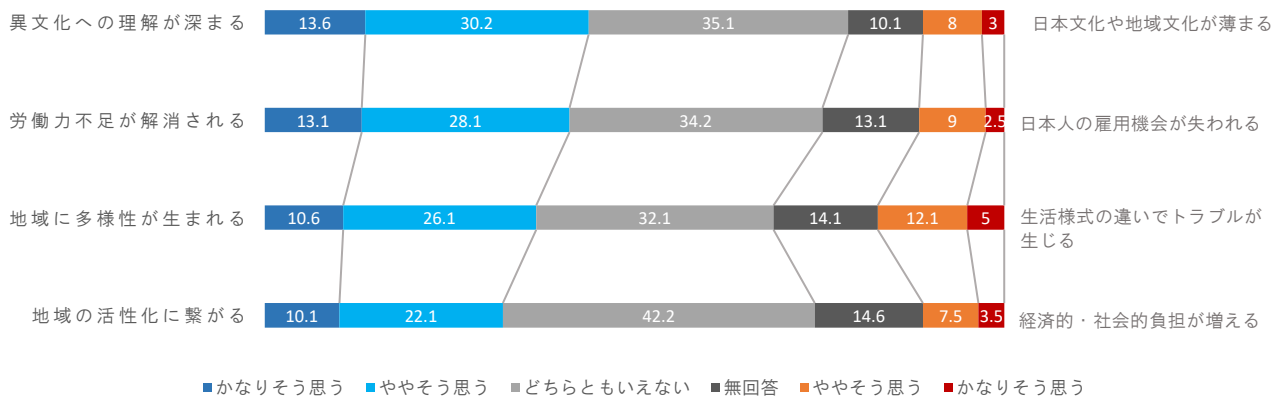
質問11 外国の方と同じ地域で住むことに、どのような印象を持っていますか。

	人	%
(異文化への理解が深まる) かなりそう思う	27	13.6
(異文化への理解が深まる) ややそう思う	60	30.2
どちらともいえない	70	35.1
(日本文化や地域の文化が薄れる) ややそう思う	16	8.0
(日本文化や地域の文化が薄れる) かなりそう思う	6	3.0
無回答	20	10.1
合計	199	100.0

	人	%
(労働力不足が解消される) かなりそう思う	26	13.1
(労働力不足が解消される) ややそう思う	56	28.1
どちらともいえない	68	34.2
(日本人の雇用機会が失われる) ややそう思う	18	9.0
(日本人の雇用機会が失われる) かなりそう思う	5	2.5
無回答	26	13.1
合計	199	100.0

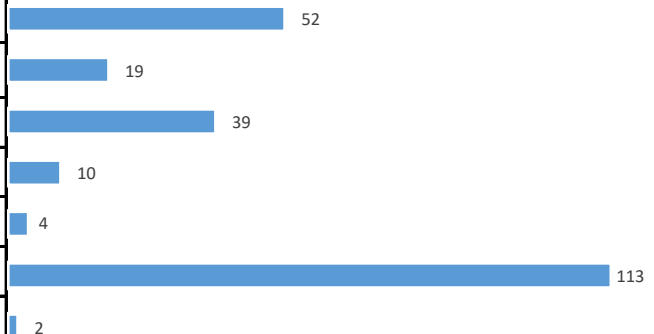
	人	%
(地域に多様性が生まれる) かなりそう思う	21	10.6
(地域に多様性が生まれる) ややそう思う	52	26.1
どちらともいえない	64	32.1
(生活様式の違いでトラブルが生じる) ややそう思う	24	12.1
(生活様式の違いでトラブルが生じる) かなりそう思う	10	5.0
無回答	28	14.1
合計	199	100.0

	人	%
(地域の活性化につながる) かなりそう思う	20	10.1
(地域の活性化につながる) ややそう思う	44	22.1
どちらともいえない	84	42.2
(経済的・社会的負担が増える) ややそう思う	15	7.5
(経済的・社会的負担が増える) かなりそう思う	7	3.5
無回答	29	14.6
合計	199	100.0



質問12 多文化共生のまちづくりのために、あなたが活動していること（してみたいこと）はありますか

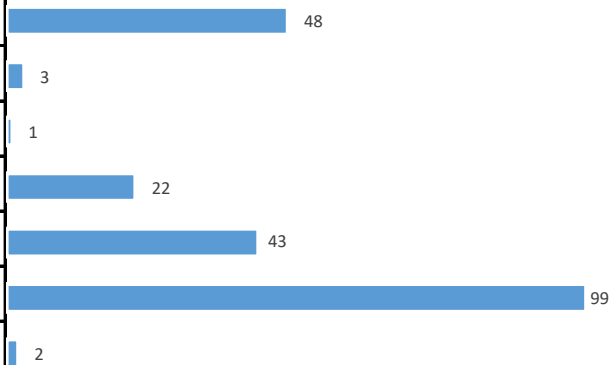
	人	%
近所であいさつを交わす	52	21.8
国際関係のイベントやセミナーに参加する	19	7.9
外国語や他国の文化を学ぶ	39	16.3
日本語を教える活動に参加する	10	4.2
翻訳や通訳をする	4	1.7
特にない	113	47.3
その他	2	0.8
合計	239	100.0



その他：簡単なスポーツや芸術を通して日本の文化に触れて頂き、会話・交流を持つ

質問13 これまで外国の方と関わりで困ったことはありますか

	人	%
言葉の違いでコミュニケーションが取れない	48	22.0
ゴミ出しや騒音など、生活上のマナーやルールを理解してもらえない	3	1.4
地域の行事や活動に参加してもらえない	1	0.5
相手の文化や習慣がわからない	22	10.1
困ったことはない	43	19.7
関わりをもったことがない	99	45.4
その他	2	0.9
合計	218	100.0

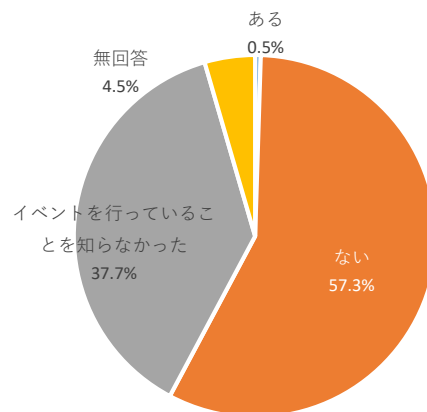


その他：家の中へ靴を履いてきてしまった、自転車に乗りながら大声で話すのが怖かった

【行政について】

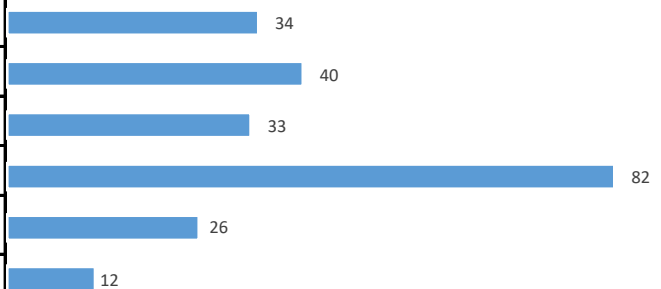
質問14 新発田市が開催している多文化共生関連イベントに参加したことはありますか

	人	%
ある	1	0.5
ない	114	57.3
イベントを行っていることを知らなかった	75	37.7
無回答	9	4.5
合計	199	100.0



質問15 どんなイベントなら参加したいと思いますか

	人	%
外国の文化を学ぶ講座やイベント	34	15.0
地域に住む外国人との交流イベント	40	17.6
外国語を学ぶ講座	33	14.5
外国の料理を体験できるイベント	82	36.1
外国の方とのコミュニケーションなどを学ぶ講座	26	11.5
その他	12	5.3
合計	227	100.0



その他：ゲーム、外国人と友達になれるイベント、音楽芸術や軽いスポーツ

質問16 現在、新発田市が行っている外国人支援・多文化共生の為のサービスや事業で
知っているものはありますか

	人	%
外国人住民向け広報誌 「しばたあやめニュース」	13	6.4
外国人住民向けFacebookページ 「Shibata Topics for Foreign Residents」	2	1.0
外国人住民が防災について学ぶ 「防災セミナー」	3	1.5
日本人が外国の文化を知るための 「国際理解講座」	5	2.5
日本人と外国人の交流を目的とした 「多文化共生イベント」	2	1.0
地域の外国人に日本語を教えるスキル を学ぶ「日本語ボランティア養成講座」	8	4.0
その他	1	0.5
まったく知らない	168	83.1
合計	202	100.0

その他：韓国語講座

質問17 多文化共生のまちづくりのために、新発田市が取り組んだ方がいいと思う
サービスはどれですか

	人	%
外国人相談窓口を設置する	71	14.1
各種案内板や手続き資料に外国語表記を加える	41	8.1
外国人向けの日本語教育の機会を増やす	39	7.7
外国人の子どもに対する教育支援を増やす	44	8.7
外国人が日本の習慣や生活ルールを学ぶ機会を増やす	59	11.7
外国人に対して多言語での情報提供を増やす	20	4.0
外国人と日本人との交流の機会を増やす	50	10.0
外国人の地域活動（自治会のイベントや町内会活動 など）への参画を支援する	21	4.2
日本人向けの多文化共生に関する意識啓発や 国際理解講座などを充実させる	10	2.0
多文化共生を専門とする組織を設立して、継続的な 活動を行う	7	1.4
通訳できる人を増やす、通訳員を採用する	33	6.5
外国人を支援するためのボランティア向け講座等を 充実させる	9	1.8
外国人の労働環境を整備するよう企業に働きかける	26	5.1
外国人の就労のための支援	32	6.3
外国人住民の意見をくみ取るシステムをつくる	39	7.7
その他	4	0.8
合計	505	100.0

その他：外国人の意見要望を聞き取る機会を多くつくる、日本人の外国語学習の強化。外国人ではなく日本人がより多くの外国人とふれ合えるよう世界共通語の英語への理解を深める

新発田市多文化共生推進指針

策定 令和6年3月

編集 新発田市市民まちづくり支援課

〒957-8686 新潟県新発田市中央町3-3-3

TEL 0254-22-3030

HP <https://www.city.shibata.lg.jp/>

